

2003年11月 7日発行

TRC MARC
ニュース

第24号

株式会社
TRC図書館流通センター

目 次

はじめに	1
1 提供スケジュール	2
2 2005年以降の提供MARCおよび提供周辺ファイル	2
3 『TRC MARCニュース第23号』(案)の主な改訂点	4
3-0 字体の統一を中止(旧字の採用)	4
3-1 「Uタイプ」「Vタイプ」「Tタイプ」に共通する23号(案)の主な改訂点	4
3-2 「Uタイプ」「Tタイプ」に共通する23号(案)の主な改訂点	5
3-3 「Uタイプ」のみに関する23号(案)の主な改訂点	7
3-4 「Tタイプ」のみに関する23号(案)の主な改訂点	7
3-5 周辺ファイルに関する23号(案)の主な改訂点	11
4 「Tタイプ」の特徴－2005年以降の「Uタイプ」との比較－	12
4-1 MARCと周辺ファイルをデイリーで提供	12
4-2 更新データをタグ単位で提供	12
4-3 MARC上の典拠IDおよび、全典拠ファイルを提供	13
4-4 字体の統一を中止(旧字の採用)	14
4-5 「日本目録規則 1987年版 改訂2版」の適用	14
4-6 フィールドを整理	15
4-7 アクセスポイントを充実	17
4-8 書評情報、受賞情報の提供	18
4-9 主題の充実	18
4-10 配架への対応	18
4-11 配列等への対応	19
4-12 ローカルデータへの対応	19
5 2005年以降の「Uタイプ」変更点一覧	20
6 2005年以降の「Vタイプ」変更点一覧	32
7 「Tタイプ」AV資料の特徴－2005年4月以降の「Uタイプ」との比較－	36
7-1 著者典拠ID・個人件名典拠IDを提供	36
7-2 「内容細目ファイルT」を提供	36
7-3 字体の統一を中止(旧字の採用)	37
7-4 図書と共通の特徴	37
7-5 フィールドの整理等	37
8 2005年4月以降の「Uタイプ」AV資料の変更点一覧	40
9 2005年4月以降の「Vタイプ」AV資料の変更点一覧	43
10 「Tタイプ」データ要素一覧	45
11 「典拠ファイルT」データ要素一覧	51
12 「内容細目ファイルT」データ要素一覧	57
13 「目次情報ファイルT」データ要素一覧	58
14 「コード化情報ファイルT」	59

はじめに

先般は「TRC MARC意見交換会」へのご参加、また「新TRC MARC案」についてのアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。多くの貴重なご意見をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。いただきましたご意見をもとに、可能な限り次期提供MARCに盛り込みたいと考え、『TRC MARC ニュース 第23号』（以下23号）でご提案いたしました「新MARC案」を大幅に改訂いたしました。より使い勝手のよいMARCをご提供したいと考えておりますので、何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新MARCの名称は「Tタイプ」とし、以下の基本方針のもとに設計を行いました。

1. 成長するMARC

近刊情報（予定）、資料現物から作成したMARCおよび周辺ファイル、受賞情報などの資料刊行後の更新データまで、同一の資料に対して複数の世代にわたる情報を提供し、提供スピードと詳細な情報への要求にお応えいたします。

2. MARCと典拠ファイルの効果的な利用

弊社内でこれまで構築してきた全典拠ファイルの提供とともに、MARCと典拠ファイルをデイリーで提供し、MARCのみではなしえなかったより高度で効果的な検索機能を提供いたします。

3. すべての資料に対応する統一されたMARC

「Uタイプ」では、和図書とAV資料で構造の違い（内容の項目等）がございましたがこれを解消し、また各図書館で様々な資料（電子資料等）に対応したMARCが作成できるよう、統一したMARC項目の設定を行いました。

なお、本号での説明は、23号（案）の改訂点、「Tタイプ」の特徴、現在提供中のMARCの変更点を中心といたしました。タグ毎の「現行のUタイプ」と「Tタイプ」の比較につきましては、大部の資料（図書・AV資料それぞれ約100p）になりますことから、別途ご用意させていただきます。また、意見交換会でのご意見、アンケートの集計結果につきましても60p強の資料となりますことから、同様に別途ご用意させていただきます。

お客様のご希望により、PDFファイルもしくは、ペーパーの資料をお送りいたしますので、お手数ではございますが挟み込みの資料請求用紙にご記入の上、FAXでお申し込みいただけますようお願い申し上げます。なお、TOOL-iをご利用の図書館におかれましては、TOOL-i上にPDFファイルをご用意いたしますので、そちらからおとりいただけますようお願い申し上げます。（TOOL-iへの掲載は、11月14日を予定しております。）

注：「Uタイプ」「Tタイプ」の各仕様書は、2004年末に発行を予定しております。

1. 提供スケジュール

提供スケジュールについてでございますが、当初の「新MARC案」に大幅な改訂がは
いりましたことから、改めて、弊社内で新仕様に基づくMARC、典拠ファイル、内容細
目ファイルの整備作業のスケジュール化を行っております。また、各メーカーとの情報交
換、意見交換のなかから、各システムメーカーでの開発期間なども考えあわせまして、慎
重に検討の結果、提供開始時期を2005年1月からとさせていただきたく存じます。誠に恐
縮ではございますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

2005年1月「Tタイプ」図書の提供開始予定

「周辺ファイルT」の提供開始予定

2005年4月「Tタイプ」AV資料の提供開始予定

2005年4月「Tタイプ」洋書の提供開始予定

2. 2005年以降の提供MARCおよび提供周辺ファイル

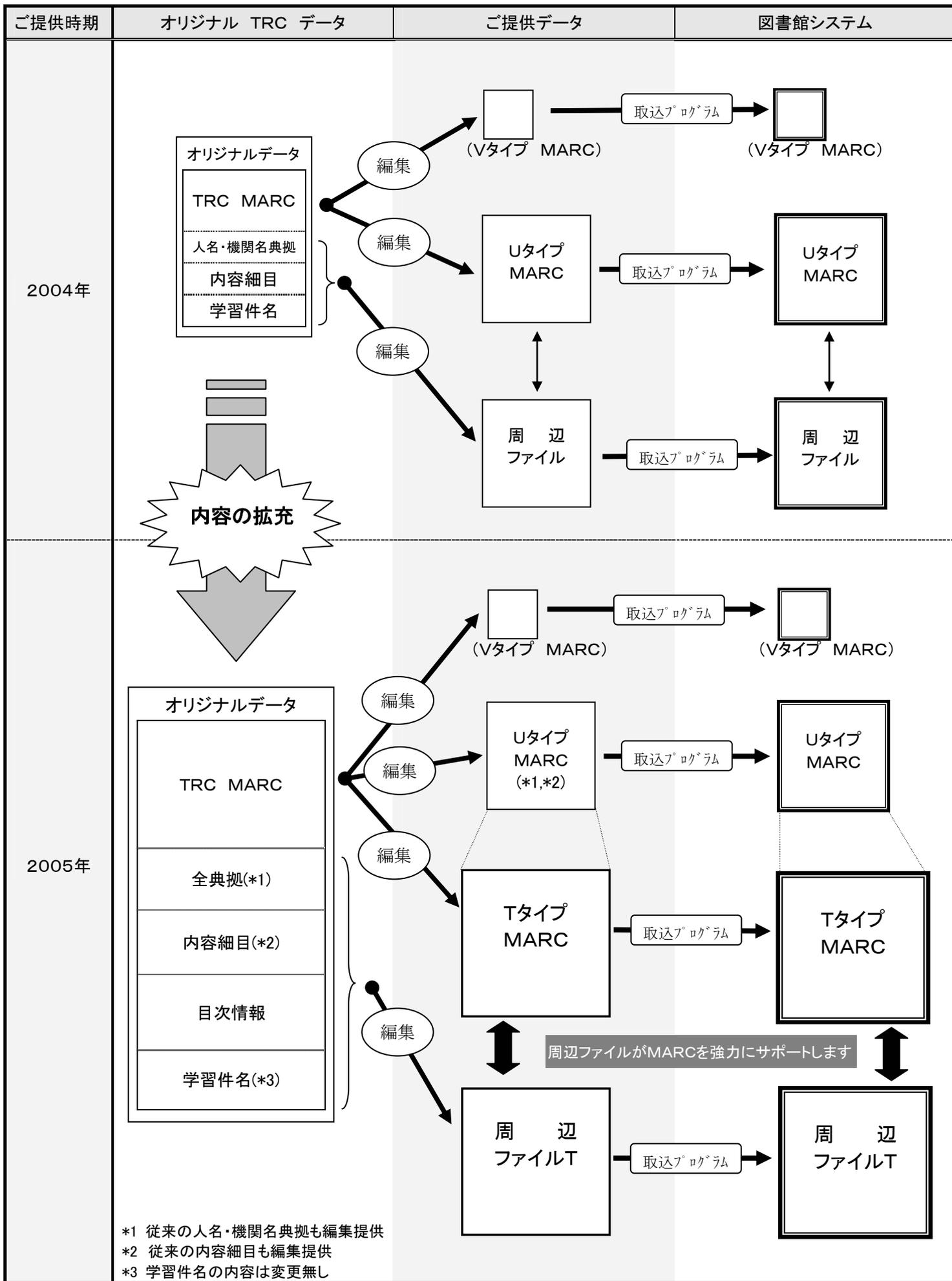
提供MARCの各タイプは、弊社内で作成しておりますオリジナルMARCからそれぞ
れ編集してお届けしております。「Tタイプ」の提供開始に伴い、オリジナルMARCの作
成仕様および内容が2005年より変更になります。従いまして、2005年より「Uタイプ」「V
タイプ」に若干の変更が加わります。すでに提供している項目に対する改良点はなるべく
反映させ、システムの改変を伴う項目につきましては影響のないようにいたしましたので、
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。(変更点につきましては、それぞれ「2005
年以降の「Uタイプ」変更点一覧」「2005年以降の「Vタイプ」変更点一覧」の形でまとめ
てございますので、そちらをご覧くださいませようお願い申し上げます。)

提供周辺ファイルもMARCと同様に、オリジナル周辺ファイルから編集してお届けし
ております。「周辺ファイルT」の提供開始に伴い、オリジナル周辺ファイルの作成仕様お
よび内容が2005年より変更になりますが、現在提供中の周辺ファイルは、典拠ファイルに
おける使用文字(旧字も使用)以外の変更はありません。

2005年以降の提供MARCおよび、提供周辺ファイルは次ページのようにになります。

「Tタイプ」の提供フォーマットは新分解型、文字コードはASCII、SJISで提供
いたします。

◇2005年以降の各種データのご提供イメージ図



3. 『TRC MARCニュース第23号』（案）（以下23号）の主な改訂点

3-0. 字体の統一を中止（旧字の採用）（23号 p 29）

「転記の原則にしたがって、字体の統一を中止（旧字の採用）いたします」と23号でご提案いたしました。その後、各図書館システムへの影響を調査していく中で、字体の統一を中止することによって図書館システムの変更をとまなう図書館がすくなくならずあることが、判明いたしました。そのため、現在提供中の「Uタイプ」および「Vタイプ」では、従来どおり字体を新字に統一してお届けいたします。事前の調査不足のままご提案いたしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、典拠ファイルは典拠IDからの検索が可能ですので、2005年以降は、「JIS C 6226-1978年版 漢字コード表」第1・第2水準に含まれる文字に関しましては、字体の統一は行わず図書に表示された字体で提供いたします。「Tタイプ」は新しいMARCですので、同様に字体の統一は行わず図書に表示された字体で提供いたします。

各MARC・周辺ファイルにおける使用字体は以下のとおりです。

項目	2005年以降のUタイプ・Vタイプと周辺ファイル	Tタイプ
MARC	新字のみ(変更なし)	旧字も使用
典拠ファイル	旧字も使用	
内容細目ファイル	新字のみ(変更なし)	
目次情報ファイル		

3-1. 「Uタイプ」「Vタイプ」「Tタイプ」に共通する23号（案）の主な改訂点

3-1-1. セットものの取り扱い（23号 p 24～28）

セットものの取り扱いについて、「各々が固有のタイトルをもつものは単行書を記述の対象とする」ということで、固有のタイトルを本タイトルとする際の条件をご提案いたしました。各図書館のご意見をもとに検討を重ねました結果、請求記号との関係でシステム的に対応できない図書館があること、図書館での累積MARCとの整合性に問題が生じること、23号のご提案自体が折衷案であることなどから、記述の対象の基準は変更せず、従来どおりの取り扱いといたします。

注) 記述の対象における「日本目録規則 1987年版 改訂2版」の適用につきましては、「TRC MARC/Uタイプ マニュアル-図書編-第3～6版」p15～17をご参照ください。

3-1-2. ルビの付記を中止（23号 p 57）

「漢字検索のためにルビの付記を中止」とご提案いたしましたが、「ルビの付記のいいところは残したうえで、漢字検索への対応を」というご意見をたくさん頂戴いたしました。そこで、従来どおり、本タイトルにはルビの付記をいたします。

なお、「Tタイプ」では、漢字検索に対応するために本タイトルのアクセスポイント（漢字形）（551～559B）にルビの付記のない漢字形を入力いたします。

3-1-3. 合集の取り扱いを変更（23号 p 57）

「責任表示・タイトル関連情報・巻次が同じで、総合タイトルのない合集の入力方法の変更」をご提案いたしました。ご意見を頂戴いたしました。そこで、従来どおりの取り扱いといたします。「多巻ものの各巻のタイトル」においても同様となります。また、合集の取り扱いの変更に伴うアクセスポイント「カタカナ形をノンリピータブルに変更」「漢字形の提供中止」「カタカナ形（無著者名古典）をノンリピータブルに変更」につきましても、変更は行なわず従来どおりといたします。

3-1-4. アルファベットに付されているルビ読み（新提案）

アルファベットに付されているルビ読みのうち特殊なルビ以外で、TRC統一読みがあるものにつきましては、ルビ読みの入力を省略してまいりました。漢字のルビ読み同様アルファベットにルビ読みがある場合は、ルビ読みを入力してほしいとのご要望を頂戴いたしておりますので、ルビ読みを入力いたします。

例：ISO崩壊・・・イソ/ホウカイ ⇒アイエスオー/ホウカイ・・・ルビ
⇒イソ/ホウカイ・・・TRC統一読み

3-1-5. 「本タイトル」「シリーズ名」以外の読み（新提案）

「本タイトル」「シリーズ名」以外で漢字形が数字のみの場合などに、一部読みを省略しておりましたが、これにつきましても読みを入力してほしいとのご要望を頂戴いたしておりますので、読みを入力いたします。

例：2～4歳向け・・・読みなし ⇒ニ/ヨンサイ/ムケ

3-2. 「Uタイプ」「Tタイプ」に共通する23号（案）の主な改訂点

3-2-1. 2以上の責任表示の入力順序を変更（23号 p 60）

「図書に2以上の責任表示がある場合に、図書の表示に従って入力」とご提案いたしましたが、「画面表示との関係で、現在の入力順序のままとしてほしい」とのご意見を頂戴いたしました。そこで、従来どおりの入力順序といたします。

3-2-2. 注記の語句の省略（23号 p 80）

「原タイトル注記の「原タイトル：」「原著」「の翻訳」などの語句を省略」とご提案いたしましたが、「言葉で表示してほしい」とのご要望を頂戴いたしました。そ

ここで、従来どおり「原タイトル」「原著」「の翻訳」の語句は省略せず入力いたします。

3-2-3. 価格 (23号 p 84)

「税制変更に合わせてサブフィールドの名称と意味づけを変更」といたしましたが、「Uタイプ」での価格の提供方法は、従来どおり「本体価格」のみといたします。

	360B	360C	360L	360M
Uタイプ(変更なし)	本体価格	本体価格	セット価(本体価格)	セット価(本体価格)
Tタイプ	本体価格	税込み価格〔予定〕	セット価(本体価格)	セット価(税込み価格)〔予定〕

3-2-4. 「基本件名標目表 第4版」(以下BSH4版)の採用 (23号 p 116)

BSH4版採用にともなう累積MARCの修正方法に23号ではふれておりませんが、累積MARCの修正につきましては、以下のように対応する予定です。

- (1) 1:1対応のもの 「MARC No. - タグ - 旧件名標目 : 新件名標目」の対応テーブルを公開して提供いたします。
- (2) 1:1対応以外のもの これらにつきましては、MARC1件1件の確認が必要となりますので、順次累積MARCの修正を行い、更新データとして提供いたします。

3-2-5. 「刊行形態区分」のコードの意味づけを変更 (新提案)

「刊行形態区分」の「年刊」(B)を「部編名、巻次、回次、年次等」の先頭が年次であるか否かのみで判別するのは、不適切であるとのこと指摘を頂戴しております。また、全集の揃いと不揃いは、あくまでMARC作成時点のものでしかなく、区別する必要性に乏しいため、以下のように意味づけを変更いたします。

- A 単品
- B 年刊 ⇒年次があるもの
- C 揃全集 ⇒全集(揃い・不揃い)
- D 上下・正統
- E 全集(不揃) ⇒Cに統合

3-2-6. 「巻冊記号」に追加 (新提案)

「部編名、巻次、回次、年次等」の項目に「回次(年次)」の表示がある場合に、「巻冊記号」も「回次(年次)」の形で入力いたします。

例：理科年表 第76冊(平成15年) 「巻冊記号」76 ⇒76(2003)

3-3. 「Uタイプ」のみに関する 23号(案)の主な改訂点

3-3-1. 前付ページの省略を中止 (23号 p 68)

「前付ページの省略を中止」とご提案いたしましたが、表示の桁数の問題などもあるようですので、「Uタイプ」では、従来どおり前付ページは省略いたします。

3-4. 「Tタイプ」のみに関する 23号(案)の主な改訂点

3-4-1. 字体の統一を中止－累積MARCへの対応 (23号 p 29)

「字体の統一を中止」に関連して、「累積MARCの修正は行いません」といたしましたが、現物確認の可能な『週刊新刊全点案内』掲載の継続中の図書で、「刊行形態区分」が年刊(B)、全集(C)、上下・正統(D)のものについて、続巻が出版された時点で累積MARCの修正を行います。

注) 単行書、刊行終了の全集、および図書館蔵書から作成したMARCにつきましては、現物確認が困難なところから、累積MARCの修正は行いませんので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

3-4-2. 識別ブロック・コード化情報ブロック (23号 p 31～56)

「識別ブロック」(0△△)および「コード化情報ブロック」(1△△)のフィールドの見直しおよびコードの見直しを行いました。

(1) 識別ブロック

「レベル」(000)^(注)「MARC種別」(001)「周辺ファイル」(003)「最終更新日付」(005)「国際標準図書番号」(010)「国際標準逐次刊行物番号」(011)「TRC MARCコード」(080)「関連TRC MARC No.」(091)の8つのフィールドといたします。(注: p 12 4-2 参照)

また、「国際標準図書番号」(010)につきましては、多くのサブフィールドを設定するのは、煩雑であるとのことから、出版年月との対応関係をもたせて、「ISBN」(A)「セットISBN」(F)「ISBNに対応する出版年月」(D)「誤ISBN」(M)の4つのサブフィールドを設定いたします。

(2) コード化情報ブロック

「一般的処理データ」(100)「著作の言語」(101)「出版国または製作した国」(102)「資料コード」(121)「シリーズ資料コード」(122)「索引フラグ」(132)「著作権コード」(141)の7つのフィールドといたしました。

また、「資料コード」(121)につきましては、「資料種別」(A)「資料形式」

(B)「利用対象」(C)「刊行形態区分」(E)「配本回数」(F)「流通コード」
(G)「装丁コード」(H)「付属資料の資料種別」(I)「特殊な刊行形態区分」
(K)「ベルグループコード」(L)「ストックブックスコード」(M)「新継続
コード」(N)の12のサブフィールドといたします。

コード内容につきましては、「利用対象」に「0～2歳」「3～5歳」を加える等
コード化情報全般にわたって、大幅な改訂を行いました。

3-4-3. 記述ブロック

(1)「出版・頒布等に関する事項」(270)(23号p65～67)

- ・「発売などの付記事項に対して、役割区分コードを設定してコード化して提供」とご提案いたしましたが、従来どおり言葉で表示してほしいとのご要望を頂戴いたしましたので、「役割区分コード」の新設は行わず、従来どおり(発売)等と付記して入力いたします。
- ・「出版年月日まで入力」とご提案いたしましたが、日付までは不要であるとのご意見を多く頂戴いたしましたので、従来どおり月までの入力といたします。
- ・「刷次」(265C)(23号p63)および「刷出版年月、頒布年月等」(270E)
(新提案)

「刷次」(265C)につきましては、「ガイドブック・地図についてのみ提供」とご提案いたしましたが、図書館の蔵書からMARCを作成した場合や、見本もれで後ほどMARCを作成する際に、2刷以降の図書でMARCを作成する場合がございます。MARCをどの図書で作成したかを明確にするために、ガイドブック、地図だけではなく、2刷以降で作成した図書について、「刷次」を提供いたします。また、その際、刷に対応する出版年月も必要となりますので、「刷出版年月、頒布年月等」(270E)を提供いたします。なお、「刷出版年月、頒布年月等」(270E)につきましては、1994年3月以降作成のTRCオリジナルMARCには入力しておりますので、1994年3月以降作成のMARCについて、提供いたします。

(2)「付属資料の種類と数量」および「付属資料の大きさ」(23号p69)

「付属資料の種類と数量」「付属資料の大きさ」を設定いたしましたが、大きさを分ける必要はないとのご意見を頂戴いたしました。そこで、「付属資料の種類と形態」(275E)を新設し、ここには図書とは別の媒体資料が付属している場合に、付属資料の種類と形態を入力いたします。また、「付録の数量」(275J)を新設し、ここには、図書本体とは別にある地図等の付録の数量、および別冊付録の数量を入力いたします。

例2：記述形：近世の三大改革

カタカナ形：キンセイ／ノ／サンダイ／カイカク

アルファベット数字を含むカタカナ形：なし

修正：アルファベット数字を含むカタカナ形：キンセイ／ノ／3ダイ／カイカク

例3：記述形：The sign of life

カタカナ形：ザ／サイン／オブ／ライフ

アルファベット数字を含むカタカナ形：THE／SIGN／OF／LIFE

修正：アルファベット数字を含むカタカナ形：The／sign／of／life

(2) 「出版年月，頒布年月等（数字）」（770D）（23号p111）

「出版年月，頒布年月等（数字）」（770D）の入力方法を見直し、以下のように入力いたします。

	23号での提案	修正
2003 あとがき	2003	200300
[19--]	19	190000
出版年不明		000000

(3) 「地域区分（665）」のフィールドを予定に変更いたします。（23号p119）

(4) 「シリーズ分類記号（678）」のフィールドを予定に変更いたします。（23号p122）

(5) 「シリーズ図書記号（698）」のフィールドを削除いたします。（23号p125）

（以下新提案）

(6) 「部編名，巻次，回次，年次等の配列記号」を新設

画面表示、蔵書目録等の作成の際に、配列しやすくするために、「部編名，巻次，回次，年次等の配列記号」を新設して、階層ごとに6文字で区切って入力いたします。

例：部編名，巻次，回次，年次等：洋書編昭和23年～昭和61年8月第1巻

部編名，巻次，回次，年次等の読み：ヨウショヘン－1948／1986／8－1

部編名，巻次，回次，年次等の配列記号：ヨウショヘン－001948－000001

(7) 「学習個人件名標目（640）」「学習件名標目（641）」「学習件名標目（文学）（642）」のフィールドを予定として新設いたします。

(8) 「多巻ものの各巻の分類記号（679）」のフィールドを新設いたします。

(9) 「絵本の主題分類に対する単一標目指示（690S）」のサブフィールドを新設いたします。

(10) 「ノベライゼーションの原作者指示（690N）」のサブフィールドを新設いたします。

3-5. 周辺ファイルに関する 23 号（案）の主な改訂点

3-5-1. 「典拠ファイル」(23 号 p 128～148)

- (1) 「更新レベル (000 L)」を MARC と同様に新設いたします。
- (2) 「従来の「個人名典拠ファイル」「団体名典拠ファイル」に AV および内容細目ファイルに現われた典拠も提供いたします」とご提案いたしましたが、その件数が多く、対応できないシステムがあるとのことですので、従来の典拠ファイルにつきましては、現状どおり図書の典拠のみとさせていただきます。「典拠ファイル T」では、AV および内容細目ファイルに現われた典拠も提供いたします。
- (3) 「個人名典拠ファイル」「団体名典拠ファイル」の「よみ注記フラグ (200 0) (210 0)」および「個人名典拠ファイル」の「出身 (320 G)」の項目を削除いたします。
- (4) 「個人名典拠ファイル」「団体名典拠ファイル」に「初出タイトル」(825 B) の項目を新設いたします。
- (5) 「シリーズ典拠ファイル」の「シリーズ別置記号 (237 J)」「シリーズ分類記号 (237 M)」の項目を予定に変更いたします。

3-5-2. 「内容細目ファイル」(23 号 p 149～151)

ファイルの構造を MARC に準じた形で設定した関係で、「収録件数は 99 までといたします」とご提案いたしましたが、100 件以上の内容細目をもつ MARC が既に 200 件ほどあることから、100 件以上の内容細目も収録できるようにファイルの持ち方を全面的に見直し、「内容細目タイトルファイル」と「内容細目責任表示ファイル」のふたつのファイルに切り分けて、499 件まで対応可能にいたしました。これにより、現在提供中の内容細目ファイルはすべて収録可能となります。

3-5-3. 「目次情報ファイル」(23 号 p 152)

ファイルの構造を MARC に準じた形でご提案いたしましたが、この場合、タイトルをどの階層 (e x. 第 1 部・第 1 章・第 1 項) から採用するのかが、個別の図書による判断となります。判断にゆれを生じる入力方法よりは、ゆれのない入力方法をということで、第 1 階層・第 2 階層 (e x. 第 1 部・第 1 章) はすべて収録する構造に変更いたします。

3-5-4. 「コード化情報ファイル T」(新提案)

「T タイプ」、「周辺ファイル T」とともに、コード化情報が多数ございますので、「コード化情報ファイル T」として提供いたします。

4. 「Tタイプ」の特徴－2005年以降の「Uタイプ」との比較－

4-1. MARCと周辺ファイルをデイリーで提供

「Tタイプ」では、MARCと典拠ファイルを一体のものとして捉え、MARCのみではなしえなかった、より高度で効果的な検索機能を提供するものです。そのために、弊社内でこれまで構築してまいりました、全典拠ファイル（人名・団体名・全集・シリーズ・出版者・件名）の提供とともに、MARCと典拠ファイルのデイリーまたはウィークリーでの提供を予定いたしております。各図書館でのご事情にあわせて、デイリーまたはウィークリーをご選択ください。従来は、MARCのみのデイリーまたはウィークリーでの提供でしたので、典拠ファイルとのタイムラグが生じておりましたが、今後は、MARC、典拠ファイルともに、図書の発売とほぼ同時にデータをお届けすることが可能となります。

また、「内容細目ファイルT」「目次情報ファイルT」につきましても、MARCと同時にしくは、1週間程度のインターバルでの提供を予定しております。こちらも、デイリーまたはウィークリーをご選択ください。

項目	2005年以降のUタイプと周辺ファイル	Tタイプ
MARC	デイリーまたはウィークリー	デイリーまたはウィークリー
典拠ファイル	詳細版はウィークリー、簡易版は年4回	
内容細目ファイル	マンスリー	
目次情報ファイル		

4-2. 更新データをタグ単位で提供

一度MARCを提供したのちに、受賞情報など更新データとして追加・更新される項目がいくつかございます。また、新設件名標目採用に伴う累積データの修正等も常時行っております。「Tタイプ」では、各図書館での加工されたデータに更新データがかぶらないように配慮してタグ単位で更新データを提供いたします。具体的には、「MARC No. もしくは典拠ID」「最終更新日付」「データレベル」^(注1)「更新レベル」^(注2)と該当タグ及び該当データの提供となります。これは、MARC、典拠ファイル、内容細目ファイル、目次情報ファイルのすべてに共通となります。提供サイクルはウィークリーとなります。

注1) データレベル (000A) は、近刊 (P)、確定 (F)、更新 (M)

注2) 更新レベル (000L) は、データの版表示とも呼べるもので、新規のデータ作成時には、0001 が付与され、その後更新が加わるごとに 0002、0003、と順次付与されます。

項目	2005年以降のUタイプと周辺ファイル	Tタイプ
MARCの更新データ	1 書誌単位	タグ単位
典拠ファイルの更新データ	1 典拠単位	
内容細目ファイルの更新データ	未提供	
目次情報ファイルのデータ		

4-3. MARC上の典拠IDおよび、全典拠ファイルを提供

「Uタイプ」では、未提供でした出版者典拠ID、全集典拠ID、シリーズ典拠ID、件名典拠IDをMARC上で提供するとともに、全典拠ファイル（人名・団体名・出版者・全集・シリーズ・件名）を提供いたします。また、「内容細目ファイルT」上で著者典拠IDを提供いたします。

項目	2005年以降のUタイプと典拠ファイル	Tタイプ
MARC上の典拠ID	著者典拠ID 個人件名典拠ID	著者典拠ID 個人件名典拠ID 出版者典拠ID 全集典拠ID シリーズ典拠ID 件名典拠ID
内容細目ファイル上の典拠ID		著者典拠ID
典拠ファイル	人名典拠ファイル 機関名典拠ファイル	人名典拠ファイル(AV・内容細目含む) 団体名典拠ファイル(AV・内容細目含む) 注:機関名典拠ファイルの名称変更 出版者典拠ファイル 全集典拠ファイル シリーズ典拠ファイル 件名典拠ファイル

また、著者標目、個人件名標目、団体件名標目において、MARCと典拠ファイル上の付記事項の持ち方を統一することと、付記事項のある西洋人には「漢字形（西洋人以外の統一形）」が入力されていた不整合を解消するために、MARCの「付記事項（生没年）」と「付記事項（専門等）」を分割いたします。

項目	2005年以降のUタイプ	Tタイプ
著者標目、個人件名標目、団体件名標目の付記事項	漢字形のあとに()で括って入力	「生没年」「専門等」の項目を分割して入力

4-4. 字体の統一を中止（旧字の採用）

利用者、出版者、著者からの「なぜ人名が図書の表記どおりではないのか」等の疑問や質問も多く寄せられていますので、「Tタイプ」では、「J I S C 6226-1978 年版 漢字コード表」第1・第2水準に含まれる文字に関しましては、字体の統一は行わず図書に表示された字体で提供いたします。

項目	2005年以降のUタイプ	Tタイプ
MARC	新字のみ(変更なし)	旧字も使用
典拠ファイル	旧字も使用	
内容細目ファイル	新字のみ(変更なし)	
目次情報ファイル		

4-5. 「日本目録規則 1987年版 改訂2版」の適用

- (1) 「Uタイプ」でも、「日本目録規則 1987年版 改訂2版」（以下「NCR 1987年版」）を部分的に適用してまいりましたが、「Tタイプ」では、その適用を明確にし、「並列タイトル」等の項目を新設いたします。
- (2) 「NCR 1987年版」2.4.3.1 任意規定 記述対象図書に表示されている最新の出版年を付記する。を適用して、「刷次」「刷出版年月、頒布年月等」のフィールドを新設いたします。
- (3) 「Uタイプ」では、TRCの内規で前付ページを省略してまいりましたが、「Tタイプ」では、前付ページを省略せずにアラビア数字で入力いたします。

項目	2005年以降のUタイプ	Tタイプ
並列タイトル		「並列タイトル」(261A)に入力
地図資料の数値データに関する事項		「地図資料の数値データに関する事項」(266)に入力
付属資料の種類と形態 付録の数量	注記に入力	図書とは別の媒体である付属資料を「付属資料の種類と形態」(275E)に入力、図書本体とは別にある地図、別冊付録等の数量を「付録の数量」(275J)に入力
刷次		2刷以降の図書でMARCを作成した場合に、「刷次」(265C)に入力
刷出版年月、頒布年月等	なし	2刷以降の図書でMARCを作成した場合に「刷出版年月、頒布年月等」(270E)に入力
ページ付	前付ページを省略	前付ページもアラビア数字で入力

4-6. フィールドを整理

- (1) 「Uタイプ」は、記述とアクセスポイントの対応がとれていることが特徴ですが、注記に入力している他の情報源のタイトルとその読みなど、一部対応がとれていないところがありましたので、その部分を修正して、対応関係がとれるようにいたします。また、サブフィールドの追加および整理を行いません。
- (2) 2までのシリーズにしか対応していませんでしたので、(3以上ある場合は、便宜的にタイトル関連情報に入力) 3以上にも対応するようにいたします。
- (3) 「識別ブロック」(0△△)のフィールドの追加および「コード化情報ブロック」(1△△)を新設し、各種のコード化情報を整理すると共に、コードの追加を行いません。

項目	2005年以降のUタイプ	Tタイプ
多巻ものの各巻のタイトル	2以上の各巻のタイトル関連情報も、同一のサブフィールドに入力	2以上の各巻のタイトル関連情報は、それぞれのサブフィールドに入力
注記	一般注記はひとつのフィールドに入力 注記したタイトルの読み・別冊付録のタイトル読みなどを本タイトルの第2タイトル読みなどに便宜的に入力	フィールドを10に分割し、注記したタイトルとその読み、別冊付録のタイトルとその読みなどの対応関係を明確にして入力 タイトルに関する注記(341) ⇔その読み(541)
特殊な版表示	「一般注記の版」(350B)に入力	「特殊な版表示」(265B)に入力
ケースの大きさ	注記に入力	「ケースの大きさ」(275I)に入力
分売不可コード	全集、シリーズコードに混在	全集、シリーズそれぞれに分売不可コードのサブフィールドを設定
件名標目	全体レベルの件名標目と各巻レベルの件名標目を出力順序制御の有無で区別	「件名標目」(658)と「多巻ものの各巻の件名標目」(659)にフィールドを分割
個人件名標目	全体レベルの個人件名標目と各巻レベルの個人件名標目を出力順序制御の有無で区別	「個人件名標目」(650)と「多巻ものの各巻の個人件名標目」(651)にフィールドを分割
単一標目指示	タイトル標目・著者標目のサブフィールドで指示	「単一標目指示」(690T)で指示
シリーズ	3つ目以降のシリーズは、便宜的にタイトル関連情報に入力 シリーズ名関連情報などは、便宜的にシリーズ名に入力	9までのシリーズに対応できるフィールドに変更 「シリーズ名関連情報」などの項目を設定し、アクセスポイントと対応関係をもつように設定

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
識別情報	「国際標準図書番号」と「TRC MARCコード」の2つのフィールドに入力	「レベル」「MARC種別」「周辺ファイル」「最終更新日付」「国際標準図書番号」「国際標準逐次刊行物番号」「TRC MARCコード」「関連TRC MARC No.」の8つのフィールドに入力
国際標準図書番号	「ISBN」と「誤ISBN」の2つのサブフィールドに入力	「ISBN」「セットISBN」「ISBNに対応する出版年月」「誤ISBN」の4つのサブフィールドに入力
コード化情報	「流通等に関する事項」の「利用対象」「流通コード」「配本回数」「刊行形態区分」「書評」「ベル・SB・新継続コード」の6つのサブフィールドに入力	「一般的処理データ」「著作の言語」「出版国または製作した国」「資料コード」「シリーズ資料コード」「索引フラグ」「著作権コード」の7つのフィールドに入力
著作の言語	外国語を示す“for”のみ	「テキストの言語」「原書の言語」「翻訳にあたって使用したテキストの言語」の3つのサブフィールドを設定 各言語コードを“eng”のように入力
資料コード	「流通等に関する事項」の「刊行形態区分」にまとめて入力	資料コードのフィールドに入力 「資料種別」「資料形式」「利用対象」「刊行形態区分」「配本回数」「流通コード」「装丁コード」「付属資料の資料種別」「特殊な刊行形態区分」「ベルグループコード」「ストックブックスコード」「新継続コード」の12のサブフィールドに入力
装丁コード	ソフトカバーなど3種類	ジャケット裏に情報ありなど20種類
資料形式	ゲームブック・漫画の2種類	ノベライズなど34種類
利用対象	13の区分	幼児を0～2歳, 3～5歳に分け、15の区分に
特殊な刊行形態区分	大活字・文庫オリジナルなど4種類	新書など14種類
索引フラグ	なし	索引のある図書には“1”のフラグを入力
著作権コード	内容紹介に入力	コード化して入力

4-7. アクセスポイントを充実

- (1) アルファベット、数字、記号類は、カタカナで読みを入力してまいりましたが、アルファベット、数字はそのままで検索したいというご要望を頂戴いたしておりますので、「アルファベット・数字を含むカタカナ形」のサブフィールドをすべてのタイトル関連のフィールドで新設いたします。ASCII内に含まれる記号はそのまま入力いたします。

例：本タイトル：ビーズアクセサリーなんでもQ&A

カタカナ形：ビーズ／アクセサリー／ナンデモ／キュー／アンド／エー

アルファベット・数字を含むカタカナ形：ビーズ／アクセサリー／ナンデモ／Q／&／A

- (2) ルビが付与された本タイトルの漢字検索のために、アクセスポイントにルビの付記のない漢字形を入力いたします。

例：本タイトル：私（マコ）だけの北極点

カタカナ形：マコ／ダケ／ノ／ホッキョクテン

カタカナ形（第2タイトル）：ワタクシ／ダケ／ノ／ホッキョクテン

漢字形：私だけの北極点

- (3) 「Uタイプ」では、ローマ字形の標目が一部未提供となっていました、「Tタイプ」では、すべての標目形で提供いたします。

- (4) 「Uタイプ」では、出版者のカタカナ形のみが分かち書きがされていませんでした。他の項目の分かち書きにあわせて、出版者も分かち書きをいたします。

- (5) 「Uタイプ」では、2以上ある出版者は注記に入力してまいりましたが、2番目以降の出版者も検索対象、典拠コントロール対象とするために、出版者のフィールドに入力いたします。また、「Uタイプ」では、「発行者」と「発売者」のフィールドがわかれていましたが、「Tタイプ」では、統合いたします。

項目	2005年以降のUタイプ	Tタイプ
アルファベット・数字を含むカタカナ形	なし	アルファベット・数字・ASCIIコード内にある記号を含むカタカナで入力
ルビの付記のない漢字形	なし	漢字検索のために、アクセスポイントにルビの付記のない漢字形を入力
ローマ字形	第2タイトルのローマ字形等が非提供	カタカナ形に対応するすべてのローマ字形を提供

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
カタカナ形の分かち書き	出版者のみ分かち書きでない	すべてのカタカナ形を分かち書きで入力
出版者	共同刊行は注記に入力	出版者のフィールドに入力しアクセスポイントも入力
	出版者と発売者のフィールドに分割	出版者と発売者はひとつのフィールドに統合

4-8. 書評情報、受賞情報の提供

「書評情報」を「Uタイプ」で提供しておりますが、さらに使い勝手をよくするために、掲載新聞紙名をそのまま入力するとともに、新聞掲載日を入力いたします。さらに、図書を取りまく情報のひとつとして、「受賞情報」を入力いたします。「書評情報」「受賞情報」とともに図書刊行後のデータにつきましては、更新データとして提供いたします。

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
書評情報	初回掲載紙をカタカナ 1 字で入力	新聞紙名をそのまま入力 新聞掲載日を入力
受賞情報	なし	賞のタイトルと回次を入力

4-9. 主題の充実

件名標目につきましては、すでに図書 1 冊ずつに対応した件名標目を入力してまいりましたが、分類記号につきましては、図書 1 冊ずつに対応した分類記号を入力していませんでした。主題検索の充実のために、「多巻ものの各巻の分類記号」を入力いたします。

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
各巻の別置記号	なし	あり
各巻の分類記号 (ND C9 版・8 版)		

4-10. 配架への対応

絵本を主題で配架したいというご要望にお応えするために、「絵本の主題分類記号」を入力いたします。

また、ノベライゼーションは原作者で配架したいというご要望にお応えするために、「ノベライゼーションの原作者指示」を入力いたします。

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
絵本の主題分類 (ND C9 版・8 版)	なし	あり
各巻の絵本の主題分 類 (NDC9 版・8 版)		
絵本の主題分類に対 する単一標目指示	なし	あり
ノベライゼーションの原 作者指示	なし	あり

4-11. 配列等への対応

画面表示、蔵書目録等の作成の際に、配列しやすくするために、「部編名，巻次，回次，年次等の配列記号」「出版年月（数字）」を新設いたします。

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
部編名，巻次，回次， 年次等の配列記号	なし	画面表示、蔵書目録などの配列のために 6 桁 -6 桁-6 桁・・・と入力
出版年月 (数字)	なし	「200501」「200500」等と入力

4-12. ローカルデータへの対応

多様なローカルデータに対応するために、ローカルデータの設定を行なうとともに、各図書館で自由に使用できるフィールドをご用意いたします。

項目	2005 年以降のUタイプ	Tタイプ
ローカルフィールド	990 のみ	「登録番号」等 12 のフィールドを設定 920～990 は図書館設定用とする

5. 2005年以降の「Uタイプ」変更点一覧

2005年以降の「Uタイプ」変更点は、以下のとおりです。

字体に関連して

「転記の原則にしたがって、字体の統一を中止(旧字の採用)いたします」と23号でご提案いたしました。その後、各図書館システムへの影響を調査していく中で、字体の統一を中止することによって図書館システムの変更をともなう図書館がすくなくあることが、判明いたしました。そのため、「Uタイプ」では、従来どおり字体を新字に統一してお届けいたします。事前の調査不足のままご提案いたしましたことを深くお詫び申し上げます。

2005年以降TRCオリジナルMARCおよび典拠ファイルは旧字を採用いたしますので、既に新字で作成している典拠で2005年以降に図書の表示が旧字であった場合、「Uタイプ」のMARC上では、同一の漢字形で入力されながら、典拠IDが異なるものものが生じることがございます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、人名・団体名典拠ファイルは、典拠IDからの検索が可能ですので、「JIS C 6226-1978年版漢字コード表」第1・第2水準に含まれる文字に関しましては、字体の統一を行わず旧字で提供いたします。既に新字で統一形を作成している典拠につきましては、旧字を記述形のひとつとして作成いたします。

既出の典拠で図書の表示が旧字の場合

Uタイプは旧字を新字に統一して提供

2005年以降のTRCオリジナルMARC	2005年以降のUタイプ
251F01 柳田／国男//著 注)	251F01 柳田／国男//著
251Z01 110001018690001 *典拠IDは仮のものです	251Z01 110001018690001 *典拠IDは仮のものです
751A011 ヤナギタ,クニオ	⇒ 751A011 ヤナギタ,クニオ
751B01A 柳田／国男	751B01A 柳田／国男
751N01 110001018690000	751N01 110001018690000

注)TRC オリジナルMARCでは、旧字で入力(新規記述形)

典拠ファイルは旧字のまま提供

2005年以降のTRCオリジナル典拠ファイル	2005年以降の典拠ファイル
110001018690000 柳田／国男 *統一形	⇒ 同左
110001018690001 柳田／国男 *記述形	

*旧字採用に伴い、既出の典拠に対しては記述形のひとつとして典拠を作成いたします。

参考

2004年までのUタイプ
251F01 柳田／国男//著
251Z01 110001018690000
751A011 ヤナギタ,クニオ
751B01 柳田／国男
751N01 110001018690000

2005年以降初出の著者で図書の表示が旧字の場合

Uタイプは旧字を新字に統一して提供

2005年以降のTRCオリジナルMARC	2005年以降のUタイプ
251F01 図書館／太郎//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。	251F01 図書館／太郎//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。
251Z01 110009999990000	251Z01 110009999990000
751A011 トショカン,タロウ	⇒ 751A011 トショカン,タロウ
751B01 図書館／太郎	751B01 図書館／太郎
751N01 110009999990000	751N01 110009999990000

典拠ファイルは旧字のまま提供

2005年以降のTRCオリジナル典拠ファイル	2005年以降の典拠ファイル
110009999990000 図書館／太郎 *統一形	⇒ 同左

2005年以降初出の著者で新字と旧字で別の著者の場合
(統一形の漢字形が異なるため、生没年等の付記はしない)

Uタイプは旧字を新字に統一して提供

2005年以降のTRCオリジナルMARC		2005年以降のUタイプ
251F01 図書館／花子//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。		251F01 図書館／花子//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。
251Z01 11000888880000		251Z01 11000888880000
751A011 トショカン, ハナコ	⇒	751A011 トショカン, ハナコ
751B01 図書館／花子		751B01 図書館／花子
751N01 11000888880000		751N01 11000888880000
251F01 図書館／花子//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。		251F01 図書館／花子//編 *人名・典拠IDとも架空のものです。
251Z01 11000777770000		251Z01 11000777770000
751A011 トショカン, ハナコ	⇒	751A011 トショカン, ハナコ
751B01 図書館／花子		751B01 図書館／花子
751N01 11000777770000		751N01 11000777770000

*図書館花子と図書館花子は別人

典拠ファイルは旧字のまま提供

2005年以降のTRCオリジナル典拠ファイル		2005年以降の典拠ファイル
11000888880000 図書館／花子 *統一形	⇒	同左
11000777770000 図書館／花子 *統一形	⇒	同左

ISBN(010A)

刷ISBNの入力開始

従来、刷ISBNは入力していませんでしたが、刷ISBNが判明した時点で、刷ISBNをリピータブルで入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
刷ISBNがある場合		
010A01 4-8288-1243-1	⇒	010A01 4-8288-1243-1 <u>010A02</u> 4-8288-1348-8
2刷でセットISBNが表示された場合(例は上・下)		
010A01 4-88131-252-9	⇒	010A01 4-88131-252-9 <u>010A02</u> 4-88131-262-6(set)
010A01 4-88131-253-7	⇒	010A01 4-88131-253-7 <u>010A02</u> 4-88131-262-6(set)

注) 累積MARCは順次修正いたします。

注) 2005年1月にISBNの桁数改定(10桁から13桁(ハイフン除く))が予定されていますが、表示されているISBNが変更になった時点で順次採用する予定です。

責任表示

責任表示(251～259F)
 版の責任表示(265F)
 多巻ものの各巻の責任表示(291～299F)
 シリーズの責任表示(280・281F)

責任表示の範囲を拡大

責任表示の入力につきましては1999年より、著者の役割ごとに3以下の著者が表示されている場合はそのまま入力し、4以上の場合は最初のまたはおもな1著者を入力し、〔ほか〕と補記して他は省略する形をとっております。

責任表示の重要性を考慮し、4以上の場合も省略せずそのまま入力いたします。

ただし、標題紙等には表示されていても奥付に表示されていない責任表示につきましては、構成レベルの責任表示であることが多いため、従来どおり最初のまたはおもな1著者を入力し、〔ほか〕と補記して、他は省略する形で入力いたします。

この変更は、「版の責任表示」「多巻ものの各巻の責任表示」「シリーズの責任表示」においても同様となります。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
責任表示を省略しない例			
標題紙・表紙:表示なし 奥付・背:赤坂憲雄 中村生雄 原田信男 三浦佑之			
251A01	いくつもの日本	251A01	いくつもの日本
251F01	赤坂／憲雄//〔ほか〕編集委員	251F01	赤坂／憲雄//編集委員
251Z01	110000010010000	251Z01	110000010010000
		<u>251F02</u>	中村／生雄//編集委員
		<u>251Z02</u>	110000724090000
		<u>251F03</u>	原田／信男//編集委員
		<u>251Z03</u>	110000814290000
		<u>251F04</u>	三浦／佑之//編集委員
		<u>251Z04</u>	110000936710000
751A011	アカサカ,ノリオ	751A011	アカサカ,ノリオ
751B01	赤坂／憲雄	⇒ 751B01	赤坂／憲雄
751N01	110000010010000	751N01	110000010010000
		<u>751A022</u>	ナカムラ,イクオ
		<u>751B02</u>	中村／生雄
		<u>751N02</u>	110000724090000
		<u>751A033</u>	ハラダ,ノブオ
		<u>751B03</u>	原田／信男
		<u>751N03</u>	110000814290000
		<u>751A044</u>	ミウラ,スケユキ
		<u>751B04</u>	三浦／佑之
		<u>751N04</u>	110000936710000
責任表示を省略する例			
標題紙・表紙:阿知波紀郎編著 海老沢徹 河合武 田崎誠司 日野正裕 山崎大共著 奥付・背:阿知波紀郎編著			
251A01	中性子スピン光学	⇒	同左
251F01	阿知波／紀郎//編著		
251Z01	110003954910000		
251F02	海老沢／徹//〔ほか〕共著		
251Z02	110003954920000		
751A011	アチワ,ノリオ		
751B01	阿知波／紀郎		
751N01	110003954910000		
751A022	エビスワ,トオル		
751B02	海老沢／徹		
751N02	110003954920000		

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

発売地(271A)

発売地の省略を中止

従来、出版地と発売地が同一の場合は、発売地を省略しておりましたが、発売地は省略せず入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
270A01 東京		270A01 東京
270B01 ビオシティ		270B01 ビオシティ
770A01 ビオシティ		770A01 ビオシティ
	⇒	<u>271A01</u> 東京
271B01 信山社サイテック(発売)		271B01 信山社サイテック(発売)
771A01 シンザンシャサイテック		771A01 シンザンシャサイテック
771N01 シ851		771N01 シ851

注) 累積MARCは修正いたします。

ページ数, 図版数等(275A)

ページ付のない図書の入力方法を変更

従来、ページ付のない図書は、「1冊」と入力しておりましたが、ページ付がない図書であることを明確にするために「1冊(ページ付なし)」の形で入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
ページ付のない図書		
275A01 1冊	⇒	275A01 1冊(ページ付なし)
参考) 本文のページ付が4種以上にわたる図書は、従来どおり「1冊」と入力		
275A01 1冊	⇒	同左

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項(291～299)

多巻ものの各巻の資料種別(291～299A)・・・多巻ものの各巻のタイトルに続けて[]で入力
 多巻ものの各巻の版表示(291～299H)
 多巻ものの各巻の版の責任表示(291～299H)・・・多巻ものの各巻の版表示にスペースで続けて入力
 多巻ものの各巻の一般注記(291～299I)
 多巻ものの各巻の翻訳書の原タイトル(291～299J)
 多巻ものの各巻の装丁(291～299K)

全体レベルに統合

上記の各項目につきましては、それぞれ下記のように全体レベルに統合して入力いたします。

多巻ものの各巻の資料種別(291～299A) ⇒ 資料種別(251W)
 多巻ものの各巻の版表示(291～299H) ⇒ 版表示(265A)
 多巻ものの各巻の版の責任表示(291～299H) ⇒ 版の責任表示(265F)+版の著者標目(760)
 多巻ものの各巻の一般注記(291～299I) ⇒ 一般注記(350A)
 多巻ものの各巻の翻訳書の原タイトル(291～299J) ⇒ 翻訳書の原タイトル(354A)
 多巻ものの各巻の装丁(291～299K) ⇒ 一般注記(350A)

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
各巻の資料種別			
251A01 Painterで描くデジタル・イラストレーション		251A01 Painterで描くデジタル・イラストレーション	
251D01 2003		251D01 2003	
291A01 パソコンを使ってアナログ感覚の絵を描こう[複合媒体資料]	⇒	<u>251W01</u> 複合媒体資料	
<u>291I01</u> 付属資料:CD-ROM(1枚 12cm)		291A01 パソコンを使ってアナログ感覚の絵を描こう	
		<u>350A01</u> 付属資料:CD-ROM(1枚 12cm)	
各巻の版表示・版の責任表示			
251A01 大日本地誌大系		251A01 大日本地誌大系	
251D01 20		251D01 20	
350B01 復刻		<u>265A01</u> 第2版	
291A01 新編相模国風土記稿		<u>265F01</u> 圭室/文雄//補訂	
291D01 第2巻		<u>265Z01</u> 110000636600000	
<u>291H01</u> 第2版 圭室文雄補訂		<u>760A01</u> タマムロ, フミオ	
291F01 蘆田/伊人//校訂		<u>760B01</u> 圭室/文雄	
291Z01 110000024460000		<u>760N01</u> 110000636600000	
791A011 アシダ, イジン	⇒	350B01 復刻	
791B01 蘆田/伊人		291A01 新編相模国風土記稿	
791N01 110000024460000		291D01 第2巻	
		291F01 蘆田/伊人//校訂	
		291Z01 110000024460000	
		791A01 アシダ, イジン	
		791B01 蘆田/伊人	
		791N01 110000024460000	
各巻の一般注記・原タイトル			
251A01 シャーロック・ホームズ全集		251A01 シャーロック・ホームズ全集	
251D01 4		251D01 4	
291A01 シャーロック・ホームズの思い出	⇒	291A01 シャーロック・ホームズの思い出	
<u>291I012</u> 注・解説:クリストファー・ローデン		<u>350A01</u> 注・解説:クリストファー・ローデン	
<u>291J011</u> 原書名:The memoirs of Sherlock Holmes		<u>354A01</u> 原タイトル:The memoirs of Sherlock Holmes	
各巻の装丁			
251A01 複製江戸期童話研究叢書		251A01 複製江戸期童話研究叢書	
251D01 [1]		251D01 [1]	
350A01 帙入	⇒	350A01 帙入	
291A01 雑字計木		291A01 雑字計木	
<u>291K01</u> 和装		<u>350A02</u> 和装	

注1) 各巻の資料種別・版表示・一般注記・翻訳書の原タイトル・装丁につきましては、累積MARCも修正いたします。

注2) 各巻の版の責任表示につきましては、累積MARCを順次修正いたします。

一般注記(350A)

入力方法を一部変更

従来、「情報源によって異なるタイトルが別言語のもの」は、「欧文書名:」または、情報源によって異なるタイトルとして「○○の書名:」の形で入力しておりましたが、「欧文タイトル:」の形で統一して入力いたします。

また、注記で用いておりました「書名」の語句は、「タイトル」の語句に改めます。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
情報源によって異なるタイトルが別言語のもの			
251A01 中国の経済発展	⇒	251A01 中国の経済発展	
350A01 表紙の書名:The China miracle		350A01 欧文タイトル:The China miracle	
「書名」の語句			
251A01 加藤一画集	⇒	251A01 加藤一画集	
350A01 書名は奥付・背による。標題紙の書名:加藤一		350A01 タイトルは奥付・背による。標題紙のタイトル:加藤一	
251A01 ODAが日本を守る	⇒	251A01 ODAが日本を守る	
350A01 別書名:政府開発援助が日本を守る		350A01 別タイトル:政府開発援助が日本を守る	
354A01 原書名:Grand Prix Bugatti 原著改訂版の翻訳	⇒	354A01 原タイトル:Grand Prix Bugatti 原著改訂版の翻訳	

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

装丁(360A)

装丁(360A)を一般注記(350A)に統合

従来、和装についてのみ、「装丁」(360A)に入力しておりましたが、和装も他の装丁と同様、「一般注記」(350A)に入力いたします。したがって「装丁」(360A)は中止いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
360A01 和装	⇒	350A01 和装	

注) 累積MARCは修正いたします。

内容紹介(目次)(377C)

目次(C)を内容紹介(B)に統合

従来、内容紹介文では表現しづらい場合に、目次を先頭から105文字以内で採用しておりましたが、目次全体を入力するものでなく、本来の目次情報とは異なることと、内容紹介の一環であるところから、「目次」(C)を「内容紹介」(B)に統合して入力いたします。したがって「目次」(C)は中止いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
377C01 1. 伝統医学を継承することとは 2. 中医学を学ぶに当たっての心構え 3. 中医学を学ぶ意義 4. 漢方書研究における基本的問題 5. 漢方薬の煎じ方 6. 『傷寒論』の薬用量について ほか17章	⇒	377B01 1. 伝統医学を継承することとは 2. 中医学を学ぶに当たっての心構え 3. 中医学を学ぶ意義 4. 漢方書研究における基本的問題 5. 漢方薬の煎じ方 6. 『傷寒論』の薬用量について ほか17章	

注) 累積MARCは修正いたします。

タイトル標目カタカナ形

本タイトル標目カタカナ形(551～559A)
 タイトル関連情報標目カタカナ形(561～569A)
 シリーズ名標目カタカナ形(580・581A)
 多巻ものの各巻タイトル標目カタカナ形(591～599A)
 多巻ものの各巻タイトル関連情報標目カタカナ形(661A)
 多巻ものの各巻の巻のタイトル標目カタカナ形(662A)

読みの省略を中止

従来、アルファベットに付されているルビ読みのうち特殊なルビ以外で、TRC統一読みがあるものにつきましては、ルビ読みを省略しておりましたが、図書館のルビ読みを「カタカナ形」(A)に入力し、TRC統一読みを「カタカナ形(第2タイトル)」(G)に入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
特殊な読み以外のルビ		
251A01 ISO崩壊		251A01 ISO崩壊
551A011 イソ/ホウカイ	⇒	551A011 アイエスオー/ホウカイ *図書館のルビ
		551G01 イソ/ホウカイ *TRC統一読み
参考)特殊なルビ読み		
251A01 SR(シアトル・ラウンド)交渉と国家貿易		251A01 SR(シアトル・ラウンド)交渉と国家貿易
551A011 シアトル/ラウンド/コウショウ/ト/コッカ/ボウエキ	⇒	551A011 シアトル/ラウンド/コウショウ/ト/コッカ/ボウエキ
551G012 エスアール/コウショウ/ト/コッカ/ボウエキ		551G01 エスアール/コウショウ/ト/コッカ/ボウエキ

注)累積MARCの修正は行なわない予定です。
 ただし、継続中の全集につきましては、カタカナ形(第2タイトル)(G)のサブフィールドにルビ読みを入力いたします。

また、「本タイトル」「シリーズ名」以外のタイトル標目で一部読みを省略しているものがございましたが、省略せずに読みを入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
251B01E 2～4歳向け <small>注)Eは、読みの省略を表す記号です。</small>	⇒	251B01 2～4歳向け
		561A01 ニ/ヨンサイ/ムケ
251B01E 他二篇	⇒	251B01 他二篇
		561A01 ホカ/ニヘン
251B01 タヌキ合戦ほか	⇒	251B01 タヌキ合戦ほか
561A01 タヌキ/ガッセン		561A01 タヌキ/ガッセン/ホカ
291A01E 自慶応三年十月至明治元年六月	⇒	291A01 自慶応三年十月至明治元年六月
		591A01 ジ/ケイオウ/サンネン/ジュウガツ/シ/メイジ/ガンネン/ロクガツ
291A01E A-Ca	⇒	291A01 A-Ca
		591A01 エー/シーエー
291A01 大特集西洋骨董家具使い小物使い	⇒	291A01 大特集西洋骨董家具使い小物使い
591A01 セイヨウ/コトウ/カグズカイ/コモノズカイ		591A01 ダイトクシュウ/セイヨウ/コトウ/カグズカイ/コモノズカイ

注)累積MARCは順次修正いたします。

ただし、「タイトル関連情報」で巻次に該当するものにつきましては、従来どおり読みを省略いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
251B01 第6回企画展	⇒	同左
561A01 キカクテン		

巻次, 回次, 年次等

巻次, 回次, 年次等(251~259D)
多巻ものの各巻の巻次, 回次, 年次等(291~299D)
シリーズ番号(280・281B)

サブフィールドの名称を変更

サブフィールドの名称を入力する内容にあわせて、以下のように変更いたします。
入力する内容に変更はありません。

251~259D	巻次, 回次, 年次等	⇒	部編名, 巻次, 回次, 年次等
291~299D	多巻ものの各巻の巻次, 回次, 年次等	⇒	多巻ものの各巻の部編名, 巻次, 回次, 年次等
280・281B	シリーズ番号	⇒	シリーズの部編名, 巻次, 回次, 年次等

巻次, 回次, 年次等の読み

巻次, 回次, 年次等の読み(551~559D)
多巻ものの各巻の巻次, 回次, 年次等の読み(591~599D)
シリーズ番号の読み(580・581D)

サブフィールドの名称を変更

サブフィールドの名称を記述のサブフィールドの名称の変更にあわせて以下のように変更いたします。

551~559D	巻次, 回次, 年次等の読み	⇒	部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み
591~599D	多巻ものの各巻の巻次, 回次, 年次等の読み	⇒	多巻ものの各巻の部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み
580・581D	シリーズ番号の読み	⇒	シリーズの部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み

入力方法を一部変更

従来、配列のためのアクセスポイントであるということで、アルファベット、カタカナを含む大文字4文字までの読みを入力しておりましたが、「部編名, 巻次, 回次, 年次等」には部編名や付録などの従属タイトルも入力しておりますので、その全体が検索できないという結果をまねいておりました。そこで、4文字までという制限なく読みを入力いたします。

入力方法

- ・アルファベット・数字を含むカタカナの分かち書き
- ・アルファベット・カタカナは大文字
- ・階層を意味している場合は「-」でつなぐ
- ・和暦は西暦におきかえる

この変更は、「多巻ものの各巻の部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み」「シリーズの部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み」においても同様となります。

巻冊記号(690D)

巻冊記号の入力方法を一部変更

従来、回次がまたがって表示されている場合は、表示されている数字のうちで少ない方の数字を入力しておりましたが、図書の配架で並べるために、判明するかぎりなるべく連番で入力いたします。

また、「部編名, 巻次, 回次, 年次等」が、回次(年次)の場合に巻冊記号は、回次(年次)のみの入力でしたが、回次(年次)の形で入力いたします。

例

2004年までのUタイプ			2005年以降のUタイプ		
251～259D	551～559D	690D	251～259D	551～559D	690D
数字					
1～10回		1	⇒	1～10回	1
11～20回		<u>11</u>	⇒	11～20回	<u>2</u>
1年生～3年生		1	⇒	1年生～3年生	1
4年生～6年生		<u>4</u>	⇒	4年生～6年生	<u>2</u>
回次(年次)					
第76冊(平成15年)		<u>76</u>	⇒	第76冊(平成15年)	<u>76(2003)</u>
年次					
84年1月号		1984-1	⇒	84年1月号	1984-1
90Spring	1990- <u>SPRI</u>	1990-1	⇒	90Spring	1990-1
昭和49～50年水産編	1974- <u>スイサン</u>	1974	⇒	昭和49～50年水産編	1974
漢字					
上巻;中巻;下巻		1;2;3	⇒	上巻;中巻;下巻	1;2;3
別巻1		22(別1)	⇒	別巻1	22(別1)
別巻	<u>ベツカン</u>	(別) *通巻不明	⇒	別巻	<u>ベツカン</u>
Pascal編	<u>PASC</u>		⇒	Pascal編	<u>PASCAL</u> へん
こげざるの壺の巻	<u>コケザル</u>		⇒	こげざるの壺の巻	<u>コケザル</u> // // ツボ // // マキ
みずぜめだいさくせんの段	<u>ミズゼメ</u>		⇒	みずぜめだいさくせんの段	<u>ミズゼメ</u> // <u>ダイサクセン</u> // // <u>ダン</u>
東北編2	<u>トウホク</u> -2		⇒	東北編2	<u>トウホク</u> へん-2
洋書編昭和23年～昭和61年8月第1巻	<u>ヨウシヨ</u> -1948-1		⇒	洋書編昭和23年～昭和61年8月第1巻	<u>ヨウシヨ</u> へん-1948 / 1986 / 8-1

注1) 巻次, 回次, 年次等の読みにつきましては, 累積MARCは順次修正いたします。

注2) 巻冊記号につきましては, 背ラベルへの影響が想定されますので, 継続中の全集は修正いたしません。ただし, 回次(年次)につきましては, (年次)の追加ですので, 順次修正いたします。

著者紹介(851～859J, 891～899J)

著者紹介冒頭の<姓または名>の表示を変更

従来、責任表示に2人以上または〔ほか〕と入力した場合に、著者紹介の先頭に<姓または名>を補って入力しておりましたが、<責任表示の表示形>を補って入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
251F01	アレン・ネルソン//著	251F01	アレン・ネルソン//著
851B011	1947年ニューヨーク生まれ。海兵隊員としてベトナム戦争の前線で戦う。現在、日米両国で精力的に講演活動を行なっている。	⇒	851B011 <アレン・ネルソン>1947年ニューヨーク生まれ。海兵隊員としてベトナム戦争の前線で戦う。現在、日米両国で精力的に講演活動を行なっている。
251F01	尾近/裕幸//編著	251F01	尾近/裕幸//編著
251F02	橋本/努//編著	251F02	橋本/努//編著
851B011	<尾近>1963年生まれ。国学院大学経済学部教授。	⇒	851B011 <尾近裕幸>1963年生まれ。国学院大学経済学部教授。
851B022	<橋本>1967年生まれ。北海道大学大学院経済学研究科助教授。		851B022 <橋本努>1967年生まれ。北海道大学大学院経済学研究科助教授。

注) 累積MARCは修正いたします。

絵本の文作者の著者紹介を開始

従来、絵本の文作者については著者紹介を省略しておりましたが、文作者についても著者紹介がほしいとのご要望をいただいております。絵本の文作者につきましても著者紹介を入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
677C01	E	677C01	E
677A01	E	677A01	E
251F01	間所/ひさこ//さく	251F01	間所/ひさこ//さく
251F02	仲川/道子//え	251F02	仲川/道子//え
		⇒	851B012 <間所ひさこ>1938年東京生まれ。詩と幼年童話で第一回日本童話会賞受賞。
851B021	<仲川>1948年東京生まれ。絵本に「パオちゃん」シリーズ、「ころちゃんだんごむし」「かまきりのかまくん」など、紙芝居に「コッコおばさん」シリーズがある。		851B021 <仲川道子>1948年東京生まれ。絵本に「パオちゃん」シリーズなど多数。

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

多巻ものの各巻の著者紹介のフィールドを中止

従来、全体レベルの「著者紹介」(851～859B)がない場合に、各巻の著者紹介(891～899B)を入力しておりましたが、入力方法が中途半端であること、入力対象も少ないことなどから、各巻の著者紹介は入力いたしません。したがって「著者紹介」(891～899B)は中止いたします。(累積MARC約216万件中2,300件(0.1%)ほどあります。2003年3月末現在)

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ	
251A01	旅の指さし会話帳	251A01	旅の指さし会話帳
251D01	2	251D01	2
291A01	インドネシア	291A01	インドネシア
291F01	武部/洋子//著	⇒	291F01 武部/洋子//著
891B011	1969年東京生まれ。バンドンのパジャジャラン大学留学を経て上智大学文学部新聞学科卒業。インドネシア在住。		

注) 累積MARCは修正いたします。

内容の著者標目(777)

内容の著者標目のフィールドを中止

従来、「内容の著者標目」を(777)のフィールドに以下の基準で入力しておりました。

著者、訳者に関して「責任表示」(251～259F)「多巻ものの各巻の責任表示」(291～299F)で入力されない場合、各々内容著者から統一形を(777A,B,R)に入力する。その場合、同一著述区分に対して3以内の場合はそのまま入力し、4以上の場合は最初の著者を入力する。(最初の著作が作者不詳の場合は、入力しない)

しかしながら、記述形がなく統一形のみであること、入力する基準が中途半端であること、内容細目ファイルでの著者の典拠コントロールを開始することなどから、「内容の著者標目」(777)のフィールドを中止いたします。

(累積MARC約216万件中4,100件(0.2%)ほどあります。2003年3月末現在)

件名標目(658)

件名標目の付与数を変更

従来は、「一般・個人件名標目を通じて、1つのMARCに対して全体レベル・各巻レベル共に各々4まであたえる」という制限がございました。「一般・個人件名標目を通じて1つのMARCに対して全体レベル・各巻レベル共に各々必要に応じて9まであたえる」と変更いたします。この変更は付与方法の変更を伴うものではなく、近年多岐の主題にわたる図書が増えてきたことに対応するものです。

注)累積MARCは順次修正いたします。

基本件名標目表第4版の採用

基本件名標目表(以下BSH)第3版から第4版で大きく変更になった件名標目につきましては、採用をみあわせておりましたが、適用細則を定めたうえで、BSH第4版を採用いたします。また、「保母→保育士」のように呼称が変更になっているものにつきましても、件名標目の訂正をおこないません。あらためて、対応表を作成してお知らせいたしますが、累積MARCの修正につきましては、以下のように対応いたします。

(1) 1:1対応のもの 「MARC No.ータグー旧件名標目ー新件名標目」の対応テーブルを公開、提供いたします。

(2) 1:1対応以外のもの MARC1件1件の確認が必要となりますので、順次累積MARCの修正を行い、更新データとして提供いたします。

個人件名標目(650)

絵本の個人件名標目を付与

従来、絵本・紙芝居には件名標目を入力していませんでしたが、絵本・紙芝居の主題が伝記である場合には、個人件名標目を入力いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
251A01 りょうかんさま		251A01 りょうかんさま
251F01 子田／重次//詩		251F01 子田／重次//詩
251F02 飯野／敞//絵		251F02 飯野／敞//絵
677C01 E		677C01 E
677A01 E	⇒	677A01 E
690A01 イリ		690A01 イリ
		<u>650B011</u> 良寛
		<u>650A01</u> リョウカン
		<u>650N01</u> 110001089860000

注)累積MARCは順次修正いたします。

流通コード(365B)

G2(TRC新継続『週刊新刊全点案内』に写真を掲載しない)M2(ストックブックス『週刊新刊全点案内』に写真を掲載しない)は、それぞれG1・M1に統合いたします。

刊行形態区分(365E)

「刊行形態区分」の「年刊」(B)を「部編名、巻次、回次、年次等」の先頭のみで判別するのは、不適切であるとのこと指摘をいただいております。また、「揃全集」(C)と「全集(不揃)」(E)は、あくまでMARC作成時点のものでしかなく、区別する必要性に乏しいため、以下のように意味づけを変更いたします。

2004年までのUタイプ			2005年以降のUタイプ		
コード	内容	備考	コード	内容	備考
A	単品	251D1がないもの	A	単品	251D1がないもの
B	年刊	251D1の先頭が年版であるもの	B	年刊	251D01に年次があるもの (注)
C	揃全集	251D1があり全巻揃って入力する場合	C	全集	251D01に年次がないもので、下記D以外のもの E(全集(不揃))を統合
D	上下、正統	251D1が上下、正統等	D	上下、正統	251D1が上下、正統等
E	全集(不揃)	251D1があり上記B、C、D、以外のもの ※初回が単品(A)で2配以降に巻次がついた場合も2配以降の刊行形態はE			注)年次とは、逐次刊行物の順序づけの表示で、年によってその順を示すもの

例

2004年までのUタイプ			2005年以降のUタイプ		
コードB(年刊)					
251A01	アンケート調査年鑑				
251D01	2003年版	⇒			同左
365E01	B				
251A01	輝け甲子園の星				
251D01	2003Spring	⇒			同左
365E01	B				
251A01	国民生活基礎調査				
251D01	平成13年第2巻	⇒			同左
365E01	B				
251A01	理科年表		251A01	理科年表	
251D01	第76冊(平成15年)	⇒	251D01	第76冊(平成15年)	
365E01	E		365E01	<u>E</u>	
コードC(全集)					
251A01	総合百科事典ポプラディア				
251D01	1	⇒			同左
365E01	C *全12巻同時刊行				
251A01	街道の日本史		251A01	街道の日本史	
251D01	7	⇒	251D01	7	
365E01	<u>E</u>		365E01	<u>C</u>	
251A01	早稲田大学図書館洋書目録		251A01	早稲田大学図書館洋書目録	
251D01	第6編(昭和40年-昭和50年)第1冊	⇒	251D01	第6編(昭和40年-昭和50年)第1冊	
365E01	<u>E</u>		365E01	<u>C</u> *昭和40年-昭和50年は収録範囲で、年次ではない	
A(単品)					
251A01	クライマーズ・ハイ				
365E01	A	⇒			同左
D(上下・正統等)					
251A01	太平洋の薔薇				
251D01	上	⇒			同左
365E01	D				

注)累積MARCは順次修正いたします。

6. 2005年以降の「Vタイプ」変更点一覧

2005年以降の「Vタイプ」変更点は、以下のとおりです。

ISBN

刷ISBNの提供

ISBNが初刷になく、2刷以降にISBNが付与された場合、刷ISBNを入力いたします。これは、累積MARCに順次追加修正を加えていく形となります。

例

2004年までのVタイプ		2005年以降のVタイプ	
ISBN		⇒ ISBN	4-7718-2629-7

注) 累積MARCは順次修正いたします。

第1書名ヨミ

読みの省略を中止

従来、アルファベットに付されているルビ読みのうち特殊なルビ以外で、TRC統一読みがあるものにつきましては、ルビ読みを省略しておりましたが、ルビ読みを入力いたします。

例

2004年までのVタイプ		2005年以降のVタイプ	
第1書名漢字	01 ISO崩壊	⇒ 第1書名漢字	01 ISO崩壊
第1書名ヨミ	01 イソ ホウカイ	第1書名ヨミ	01 アイエスオー ホウカイ

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

副書名ヨミ 巻の書名ヨミ

読みの省略を中止

一部読みを省略しているものがございましたが、読みを入力いたします。

例

2004年までのVタイプ		2005年以降のVタイプ	
副書名漢字	05 2～4歳向け	⇒ 副書名漢字	05 2～4歳向け
副書名ヨミ		副書名ヨミ	ニ ヨンサイ ムケ
巻の第1書名漢字	12 A～Ca	⇒ 巻の第1書名漢字	12 A～Ca
巻の第1書名ヨミ		巻の第1書名ヨミ	エー シーエー

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

ただし、「副書名漢字」で巻次に該当するものにつきましては、従来どおり読みを省略いたします。

参考)

2004年までのVタイプ		2005年以降のVタイプ	
副書名漢字	05 第6回企画展	⇒	同左
副書名ヨミ	キカクテン		

版表示

各巻の版表示を統合

従来、「多巻ものの各巻の版表示」は(巻の第1書名漢字)に「巻の第1書名」「巻の巻次」に続けて一字あきで入力してまいりましたが、各巻の版表示なのか、全体の版表示なのか、全巻揃わないと判別しがたいものもあることなどから、(巻の第1書名漢字)での入力は中止し、(版表示)に統合いたします。

同時に「多巻ものの各巻の版表示」に続けて入力していた「多巻ものの各巻の版の責任表示」はVタイプ上「版の責任表示」の項目がありませんので、提供を中止いたします。

例

2004年までのVタイプ		⇒	2005年以降のVタイプ	
版表示	復刻		版表示	第2版 復刻
第1書名漢字	01 大日本地誌大系		第1書名漢字	01 大日本地誌大系
巻次漢字	06 20		巻次漢字	06 20
巻の第1書名漢字	12 新編相模国風土記稿 第2巻		巻の第1書名漢字	12 新編相模国風土記稿 第2巻
	13 第2版 圭室 文雄補訂			

注) 累積MARCを修正いたします。

巻の第1書名漢字

巻の資料種別の提供を中止

「巻の資料種別表示」は巻のタイトルの後ろに[]で続けて入力してまいりましたが、全体レベルの資料種別表示の項目がないことから、提供を中止いたします。

例

2004年までのVタイプ		⇒	2005年以降のVタイプ	
第1書名漢字	01 Painterで描くデジタル・イラストレ		第1書名漢字	01 Painterで描くデジタル・イラストレ
	02 ーション		02 ーション	
巻次漢字	06 2003		巻次漢字	06 2003
巻の第1書名漢字	12 パソコンを使ってアナログ感覚の絵を描こう		巻の第1書名漢字	12 パソコンを使ってアナログ感覚の絵を描こう
	13 [複合媒体資料]			

注) 累積MARCを修正いたします。

元巻冊記号

巻冊記号の入力方法の変更

従来、回次がまたがる場合は、少ない方の数字を入力してまいりましたが、(巻次ヨミ)の入力方法の変更もあり、図書の配架で並べるために、判明するかぎりはなるべく連番で入力いたします。

例

2004年までのVタイプ			2005年以降のVタイプ		
巻次漢字	06	1～10回	⇒	巻次漢字	06 1～10回
巻次ヨミ		1		巻次ヨミ	1
元巻冊記号		1		元巻冊記号	1
巻次漢字	06	11～20回	⇒	巻次漢字	06 11～20回
巻次ヨミ		11		巻次ヨミ	2
元巻冊記号		11		元巻冊記号	2
巻次漢字	06	1年生～3年生	⇒	巻次漢字	06 1年生～3年生
巻次ヨミ		1		巻次ヨミ	1
元巻冊記号		1		元巻冊記号	1
巻次漢字	06	4年生～6年生	⇒	巻次漢字	06 4年生～6年生
巻次ヨミ		4		巻次ヨミ	2
元巻冊記号		4		元巻冊記号	2

注) 累積MARCは順次修正いたします。ただし、継続中の全集につきましては、背ラベルへの影響が考えられますので、修正は行ないません。

巻次ヨミ

入力方法の変更

従来、配列のためのアクセスポイントであるということで、アルファベット、カタカナを含む大文字4文字までの読みを入力してまいりました。「巻次漢字」には部編名や付録などの従属タイトルも入力しておりますので、その全体が検索できないという結果をまねいておりました。

そこで、4文字までという制限なく読みを入力いたします。ただし固定長のため20文字までとなります。

入力方法

- ・アルファベット・数字を含むカタカナ形の分かち書き(スペース)
- ・アルファベット・カタカナは大文字
- ・階層を意味している場合は「-」でつなぐ
- ・和暦は西暦におきかえる

例

2004年までのVタイプ			2005年以降のVタイプ		
巻次漢字	06	こけざるの壺の巻	⇒	巻次漢字	06 こけざるの壺の巻
巻次ヨミ		コケザル		巻次ヨミ	コケザル ノ ツボ ノ マキ
巻次漢字	06	1～10回	⇒	巻次漢字	06 1～10回
巻次ヨミ		1		巻次ヨミ	1
巻次漢字	06	11～20回	⇒	巻次漢字	06 11～20回
巻次ヨミ		11		巻次ヨミ	2
巻次漢字	06	90Spring	⇒	巻次漢字	06 90Spring
巻次ヨミ		1990-SPRI		巻次ヨミ	1990-SPRING
巻次漢字	06	東北編2	⇒	巻次漢字	06 東北編2
巻次ヨミ		トウホク-2		巻次ヨミ	トウホク ヘン -2
巻次漢字	06	昭和49～50年水産編	⇒	巻次漢字	06 昭和49～50年水産編
巻次ヨミ		1974-スイサン		巻次ヨミ	1974 1975 -スイサン ヘン

注) 累積MARCは順次修正いたします。

第1著者漢字
第2著者漢字
第3著者漢字

責任表示の範囲を拡大

責任表示の入力については1999年より、著者の役割ごとに3以下の著者が表示されている場合はそのまま入力し、4以上の場合は最初のまたはおもな1著者を入力し、[ほか]と補記して、他は省略する形をとってまいりました。

責任表示の重要性を考慮し、4以上の場合も省略せずそのまま入力いたします。

ただし、奥付に表示されていない責任表示・奥付に1人のみ表示されている責任表示につきましては、構成レベルの責任表示であることが多いため、従来どおり最初のまたはおもな1著者を入力し、[ほか]と補記して、他は省略する形で入力いたします。

この変更は、「巻の責任表示」においても同様となります。

注：著者の項目は3まで、巻の著者の項目は2までの制限がございますので、この数に収まる範囲になります。

2004年までのVタイプ		2005年以降のVタイプ	
責任表示を省略しない例			
タイトル:いくつもの日本			
図書の表示			
標題紙・表紙:表示なし			
奥付・背:赤坂憲雄 中村生雄 原田信男 三浦佑之			
第1著者	09	赤坂 憲雄/ ほか 編集委員	⇒
第1著者ヨミ		アカサカ,ノリオ	
第1著者	09	赤坂 憲雄/編集委員	
第1著者ヨミ		アカサカ,ノリオ	
第2著者	10	中村 生雄/編集委員	
第2著者ヨミ		ナカムラ,イクオ	
第3著者	11	原田 信男/編集委員	
第3著者ヨミ		ハラダ,ノブオ	
責任表示を省略する例			
タイトル:中性子スピン光学			
図書の表示			
標題紙・表紙:阿知波紀郎編著 海老沢徹 河合武 田崎誠司 日野正裕 山崎大共著			
奥付・背: 阿知波紀郎編著			
第1著者	09	阿知波 紀郎/編著	⇒
第1著者ヨミ		アチワ,ノリオ	
第2著者	10	海老沢 徹/ほか共著	
第2著者ヨミ		エビスワ,トオル	
		同左	

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

第1件名漢字
第2件名漢字
第3件名漢字

基本件名標目表第4版の採用

基本件名標目表(以下BSH)第3版から第4版で大きく変更になった件名標目につきましては、採用をみあわせておりましたが、適用細則を定めたくえで、BSH第4版を採用いたします。また、「保母→保育士」のように呼称が変更になっているものにつきましても、件名標目の訂正をおこないます。

あらためて対応表を作成してお知らせいたします。

7. 「Tタイプ」AV資料の特徴－2005年4月以降の「Uタイプ」との比較－

7-1. 著者典拠ID・個人件名典拠IDを提供

「Uタイプ」では、典拠IDを提供していませんでしたが、「Tタイプ」では、著者典拠ID、個人件名典拠IDを提供いたします。(図書と同一の典拠ファイルを使用しております。)

項目	2005年4月以降のUタイプ	Tタイプ
典拠ID	なし	著者典拠ID・個人件名典拠IDを提供

7-2. 「内容細目ファイルT」を提供

「Uタイプ」では、内容タイトル、内容責任表示を「内容に関する注記」(377)「内容タイトルの読み」(577)「内容作曲者名標目」(777)のフィールドに入力してまいりました。MARCの構造上、記述形の内容タイトルと責任表示の切り分けができないとか、同一作品の作曲者読みは1人までといった制限がございました。

これらを解消するために「Tタイプ」では、MARC上には内容を入力せず、「内容細目ファイルT」に入力いたします。(注:「内容細目ファイルT」(AV資料)は、「Tタイプ」(AV資料)のMARC契約の中で提供いたします。)

項目	2005年4月以降のUタイプ	内容細目ファイルT
入力件数	99まで	499まで 収録できなかったものは、件数のみ未収録件数のサブフィールドに入力
組みもの	組みものは先頭から順番に入力	1～5枚までは、1枚ごとに99まで入力(何枚目にどの作品が収録されているかを明確に入力)
記述形	タイトルと責任表示の切り分けができない	タイトルファイルと責任表示ファイルに分割
タイトル標目	カタカナ形のみ	MARCのタイトル標目と同様に「アルファベット・数字を含むカタカナ形」等のサブフィールドを設定
著者標目	タイトル毎に1	タイトル毎に複数入力可能な構造 注)当面、著者標目の入力数は、「Uタイプ」の標目(5タイトルまで各1)に準じる。順次拡大予定
典拠ID	なし	著者典拠IDを提供

7-3. 字体の統一を中止（旧字の採用）

図書と同様に、オリジナルMARCでは、2005年1月より、「J I S C 6226-1978 年版 漢字コード表」第1・第2水準に含まれる文字に関しましては、字体の統一は行わず現物に表示された字体でMARCを作成いたします。各タイプにおける使用字体は以下のとおりです。

項目	2005年4月以降のUタイプ・Vタイプ	Tタイプ
使用字体	新字のみ(変更なし)	旧字も使用

7-4. 図書と共通の特徴

以下の項目につきましては、図書と同一となりますので、そちらをご参照ください。

MARCと周辺ファイルをデイリーで提供（p12参照）

更新データをタグ単位で提供（p12参照）

アクセスポイントを充実（1）～（3）（p17参照）

配列等への対応（p19参照）

ローカルデータへの対応（p19参照）

7-5. フィールドの整理等

原則として、図書と同様にフィールドの整理等を行なっております。主な「Uタイプ」と「Tタイプ」のMARC内容の違いを、MARCの項目ごとにまとめますと、以下のようになります。（7-1・7-4を含む）

項目	2005年4月以降のUタイプ	Tタイプ
識別情報	「商品コード」と「TRC MARC コード」の2つのフィールドに入力	「レベル」「MARC種別」「周辺ファイル」「最終更新日付」「国際標準図書番号」「AV発売コード」「TRC MARCコード」「関連TRC MARC No.」の8つのフィールドに入力
コード化情報	「流通等に関する事項」の2つのサブフィールドに入力	「一般的処理データ」「著作の言語」「出版国または製作した国」「資料コード」「著作権コード」「AV機能コード」の6つのフィールドに入力
著作の言語(映像) 字幕・音声の言語	注記に入力	「字幕の言語」(101E)「音声の言語」(101F)に各言語コードを“eng”のように入力
出版国または製作した国(映像) 映画の製作国	なし	各国名コードを“GB”のように入力

項目	2005年4月以降のUタイプ	Tタイプ
資料コード	「流通等に関する事項」に資料種別・流通コード・著作権コードのみ入力	「資料コード」(121)に入力 「資料種別」「利用対象」「流通コード」「装丁コード」「付属資料の資料種別」の5つのサブフィールドに入力
利用対象	なし	「利用対象」(121D)に視覚障害者用等をコード化して入力
装丁コード	なし	「装丁コード」(121H)にトールケース等をコード化して入力
AV機能コード	注記・タイトル関連情報に入力	「VT識別コード」(151A)「画像仕様」(151B)「記録層」(151C)「CD規格」(151G)にコードで入力
典拠ID	なし	著者典拠ID・個人件名典拠IDを提供
資料種別表示	なし	本体と異なる媒体が付属している場合に、「複合媒体資料」と入力
日本公開時・放送時タイトル(映像)	なし	「日本公開時・放送時タイトル」(262A)とアクセスポイント(562)に入力
特殊な版表示	「版に関する事項」(265A)に入力	「特殊な版表示」(265B)に入力
発行地、発売地、販売地	なし	「発行地、発売地」(270A)「販売地」(271A)に入力
製作年(映像)	なし	あり
付属資料の種類と形態	注記に入力	「付属資料の種類と形態」(275E)に入力
付録の数量	なし	「付録の数量」(275J)に、容器に収まる解説書の数量を入力
ケースの大きさ	注記に「箱入り」と入力	「ケースの大きさ」(275I)に入力
再生時間(ディスク単位)(録音)	なし	「再生時間」(275S)に、ディスク単位の再生時間をリピータブルで入力
シリーズ	3つ目以降のシリーズは、入力しない シリーズ名関連情報などは、便宜的にシリーズ名に入力	9までのシリーズに対応できるフィールドに変更 シリーズ名関連情報などの項目を設定し、読みも対応関係をもつように設定
多巻ものの各巻のタイトル	2以上の各巻のタイトル関連情報も、ひとつの項目に入力	2以上の各巻のタイトル関連情報は、それぞれの項目に入力

項目	2005年4月以降のUタイプ	Tタイプ
注記	一般注記はひとまとめに入力	フィールドを分割し、注記したタイトルとその読みの対応関係を明確に入力 「AV機能に関する注記」(389)を設定
	注記したタイトルの読みは、タイトルの第2タイトル読みに便宜的に入力	タイトルに関する注記(341) ⇔その読み(541)
原タイトル注記	なし	「原タイトル」(342A)「原作のタイトル」(映像)(342C)に入力 「原タイトル」(録音は予定)
内容紹介	なし	あり(録音は予定)
受賞情報	なし	あり(録音は予定)
アルファベット・数字を含むカタカナ形	なし	アルファベット・数字・ASCIIコード内にある記号を含むカタカナで入力 ex.イクジ/Q/&/A (注:カタカナ形もあり)
ルビの付記のない漢字形	なし	漢字検索のために、アクセスポイントにルビの付記のない漢字形を入力 ex.本タイトル:小公女(プリンセス)セーラ タイトル標目(漢字形):小公女セーラ
部編名, 巻次, 回次, 年次等の配列記号	なし	画面表示, 蔵書目録などの配列のために6桁-6桁-6桁・・・と入力
分売不可コード	全集の分売不可コードのみ	全集・シリーズの分売不可コードを入力
著者の付記事項	漢字形のあとに()で括弧して入力	「生没年」「専門等」の項目に分割して入力
ジャンル名	なし	「ジャンル名<AV録音>」(669B)に現『新着AV案内』上の録音ジャンルを入力
		「ジャンル名<AV映像>」(669C)に現『新着AV案内』上の映像ジャンルを47種類に改訂して入力
NDC9版(映像)	なし	あり
音楽分類(録音)	「NDC8版」(677A)のフィールドに入力	「音楽分類」(677P)に入力
件名標目(録音)	音楽件名標目を「件名標目」(658)のフィールドに入力	「音楽件名標目」(654)に入力
単一標目指示	タイトル標目・著者標目のサブフィールドで指示	「単一標目指示」(690T)で指示

8. 2005年4月以降の「Uタイプ」AV資料変更点一覧

2005年4月以降の「Uタイプ」AV資料変更点は、以下のとおりです。

多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項	⇒ p24
タイトル標目カタカナ形	⇒ p26
巻次, 回次, 年次等	⇒ p27
巻次, 回次, 年次等の読み	⇒ p27
巻冊記号	⇒ p27
件名標目-「基本件名標目表 第4版」の採用<映像>	⇒ p30

上記の項目に関しましては、図書と同様の変更となりますので、それぞれ図書の該当ページをご参照ください。

発売コード(012B) <映像>

入力方法の変更

従来、発売コードにつきましては、以下のように加工して入力しておりましたが、メーカー指定のままのコードを入力いたします。

従来の入力方法	⇒	2005年4月以降の入力方法
①規格と番号の間にハイフンを入力 ②番号の先頭の0を削除		そのまま入力

例

2005年3月までのUタイプ		2005年4月以降のUタイプ
010B01 PCPL-59	⇒	010B01 PCPL0059

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

NDC8版(677A) <映像>

児童の分類記号を3桁からフル展開に変更

従来、児童扱いの分類記号は、NDCの要目表(3桁)まででございましたが、一般と同様に細目表まで展開いたします。

例

2004年までのUタイプ		2005年以降のUタイプ
251A01 仮面ライダーアギト	⇒	251A01 仮面ライダーアギト
251B02E 劇場版		251B02 劇場版
677W01 K		677W01 K
677A01 778		677A01 778.21

注) 累積MARCは順次修正いたします。

責任表示<映像>

責任表示の範囲を拡大

従来、映像資料の責任表示は、全体で3までとして以下の範囲で入力しておりました。

映画・TVドラマ ①監督 ②原作者 ③出演者
アニメーション ①監督(演出者) ②原作者 ③声

責任表示の重要性を考慮し、同一の役割毎に2まで入力いたします。同一の役割につき3以上が表示されている場合は、2番目に〔ほか〕と補記して省略いたします。

この変更は、「多巻ものの各巻の責任表示」においても同様となります。

例

2005年3月までのUタイプ		2005年4月以降のUタイプ	
251F01	ニコラス・メイヤー//監督, 脚本	251F01	ニコラス・メイヤー//監督, 脚本
251F02	カール・アレクサンダー//原作	251F02	カール・アレクサンダー//原作
251F03	マルコム・マクドウェル//[ほか]出演	<u>251F03</u>	スティーブ・ヘイズ//原作
751A011	メイヤー, ニコラス	251F04	マルコム・マクドウェル//出演
751R01	Meyer, Nicholas	<u>251F05</u>	デイビッド・ワーナー//[ほか]出演
751A022	アレクサンダー, カール	751A011	メイヤー, ニコラス
751R02	Alexander, Karl	751R01	Meyer, Nicholas
751A033	マクドウェル, マルコム	⇒ 751A022	アレクサンダー, カール
751R03	McDowell, Malcolm	751R02	Alexander, Karl
		<u>751A033</u>	ヘイズ, スティーブ
		<u>751R03</u>	Hayes, Steve
		751A044	マクドウェル, マルコム
		751R04	McDowell, Malcolm
		<u>751A05</u>	ワーナー, デイビッド
		<u>751R05</u>	Warner, David

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

著者標目<録音・映像>

読みの範囲を拡大

従来、責任表示として入力しているもののうち、一部読みを入力していないものがございましたが、対応する読みを入力いたします。

例

2005年3月までのUタイプ		2005年4月以降のUタイプ	
251A01	グラミー賞グレイテスト・ヒッツ!	251A01	グラミー賞グレイテスト・ヒッツ!
251D01	Vol. 2	251D01	Vol. 2
251F01E	ビリー・ジョエル//[ほか]歌 注) Eは、読みの省略を表す記号です。	⇒ 251F01	ビリー・ジョエル//[ほか]歌
		<u>751A011</u>	ジョエル, ビリー
		<u>751R01</u>	Joel, Billy

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

内容に関する注記(377, 577, 777)＜録音・映像＞

内容タイトルと内容責任表示の区切りの記号を統一

従来、内容では、内容タイトルと内容責任表示の区切りの記号に¥と()の2種類の記号を用いておりました。この使い分けは、音楽分類によったものですが、内容タイトルと内容責任表示が明確に判別できないため、内容責任表示が明確に判別できるように、区切りの記号は、¥の1種類といたします。

内容責任表示の入力方法を変更

全体の責任表示と同様に// (ダブルスラッシュ) に続けて役割区分を入力いたします。
日本人、東洋人の姓名の間は/ (スラッシュ) で区切って入力いたします。

責任表示の拡大

従来、内容に関する責任表示は、作曲者に限定して入力しておりましたが、以下のように入力いたします。ただし、1作品に対して1責任表示の入力となります。

＜録音＞ポピュラー音楽の演奏者を入力いたします。

＜映像＞責任表示に準じて入力いたします。

例

2005年3月までのUタイプ		2005年4月以降のUタイプ	
＜録音＞			
377A01 命		377A01 命	命¥北島／三郎//歌
577A01 イノチ		577A01 イノチ	イノチ
		<u>777A01</u>	キタジマ, サブロウ
		<u>777B01</u>	北島／三郎
377A02 なみだ海峡		377A02 なみだ海峡	なみだ海峡¥大黒／裕貴//歌
577A02 ナミダ／カイキョウ		577A02 ナミダ／カイキョウ	ナミダ／カイキョウ
		<u>777A02</u>	オオグロ, ユキ
		<u>777B02</u>	大黒／裕貴
:		:	
377A05 幕間		⇒ 377A05 幕間	幕間¥瀬口／侑希//歌
577A05 マクアイ		577A05 マクアイ	マクアイ
		<u>777A05</u>	セグチ, ユキ
		<u>777B05</u>	瀬口／侑希
377A06 忍冬		377A06 忍冬	忍冬¥松永／ひとみ//歌
577A06 スイカズラ		577A06 スイカズラ	スイカズラ
377A07 女の花が咲く		377A07 女の花が咲く	女の花が咲く¥真木／ことみ//歌
577A07 オンナ／ノ／ハナ／ガ／サク		577A07 オンナ／ノ／ハナ／ガ／サク	オンナ／ノ／ハナ／ガ／サク
:		:	
＜映像＞			
377A01 ハートにファイア		377A01 ハートにファイア	ハートにファイア¥ビリー 亅 ジョエル//歌
577A01 ハート／ニ／ファイア		577A01 ハート／ニ／ファイア	ハート／ニ／ファイア
		<u>777A01</u>	ジョエル, ビリー
		<u>777R01</u>	Joel, Billy
377A02 恋するティーンエイジャー		⇒ 377A02 恋するティーンエイジャー	恋するティーンエイジャー ¥ ジャネット・ジャクソン//歌
577A02 コイスル／ティーンエイジャー		577A02 コイスル／ティーンエイジャー	コイスル／ティーンエイジャー
		<u>777A02</u>	ジャクソン, ジャネット
		<u>777R02</u>	Jackson, Janet
:		:	

注1) 区切り記号につきましては、累積MARCは順次修正いたします。

注2) 責任表示の入力の拡大につきましては、2005年4月以降のMARCからとなります。

注3) 内容著者標目につきましては、5タイトルまで各1といたします。

9. 2005年4月以降の「Vタイプ」AV資料変更点一覧

2005年4月以降の「Vタイプ」AV資料変更点は、以下のとおりです。

第1書名ヨミ	⇒	p32
副書名ヨミ	⇒	p32
巻の書名ヨミ	⇒	p32
版表示	⇒	p33
元巻冊記号	⇒	p34
巻次ヨミ	⇒	p34
第1件名漢字<映像>	⇒	p35
第2件名漢字<映像>	⇒	p35
第3件名漢字<映像>	⇒	p35

上記の項目に関しましては、図書と同様の変更となりますので、それぞれ図書の該当ページをご参照ください。

NDC分類<映像>

児童の分類記号を3桁からフル展開に変更

従来、児童扱いの分類記号は、NDCの要目表(3桁)まででございましたが、一般と同様に細目表まで展開いたします。

例

現行のVタイプ		⇒	2005年4月以降のVタイプ	
第1書名漢字	01 仮面ライダーアギト		第1書名漢字	01 仮面ライダーアギト
副書名漢字	05 劇場版	副書名漢字	05 劇場版	
元分類	K778	元分類	K778.21	

注) 累積MARCは順次修正いたします。

- 第1著者漢字<映像>
- 第2著者漢字<映像>
- 第3著者漢字<映像>

責任表示の範囲を拡大

従来、映像資料の責任表示は、全体で3までとして以下の範囲で入力しておりました。

映画・TVドラマ ①監督 ②原作者 ③出演者
アニメーション ①監督(演出者) ②原作者 ③声

責任表示の重要性を考慮し、同一の役割毎に2まで入力いたします。同一の役割につき3以上が表示されている場合は、2番目に[ほか]と補記して省略いたします。

この変更は、「巻の責任表示」においても同様となります。

注: 著者の項目は3まで、巻の著者の項目は2までの制限がございますので、この数に収まる範囲となります。

例

現行のVタイプ		⇒	2005年4月以降のVタイプ	
第1著者漢字	09 ニコラス・メイヤー/監督, 脚本		第1著者漢字	09 ニコラス・メイヤー/監督, 脚本
第1著者ヨミ	メイヤー, ニコラス	第1著者ヨミ	メイヤー, ニコラス	
第2著者漢字	10 カール・アレクサンダー/原作	第2著者漢字	10 カール・アレクサンダー/原作	
第2著者ヨミ	アレクサンダー, カール	第2著者ヨミ	アレクサンダー, カール	
第3著者漢字	11 マルコム・マクドウェル/ほか出演	第3著者漢字	11 スティーブ・ヘイズ/原作	
第3著者ヨミ	マクドウェル, マルコム	第3著者ヨミ	ヘイズ, スティーブ	

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

第1著者ヨミ<録音・映像>
 第2著者ヨミ<録音・映像>
 第3著者ヨミ<録音・映像>

従来、責任表示として入力しているもののうち、一部読みを入力していないものがございましたが、対応する読みを入力いたします。

例

現行のVタイプ			2005年4月以降のVタイプ			
第1書名漢字	01	有線演歌全曲集	⇒	第1書名漢字	01	有線演歌全曲集
第1著者漢字	09	北島 三郎/ほか歌		第1著者漢字	09	北島 三郎/ほか歌
第1著者ヨミ				第1著者ヨミ		キタジマ, サブロウ

注) 累積MARCの修正は行なわない予定です。

内容漢字<録音・映像>

内容タイトルと内容責任表示の区切りの記号を統一

従来、内容では、内容タイトルと内容責任表示の区切りの記号に¥と()の2種類の記号を用いておりました。この使い分けは、音楽分類によったものですが、内容タイトルと内容責任表示が明確に判別できないため、内容責任表示が明確に判別できるように、区切りの記号は、¥の1種類といたします。

内容責任表示の入力方法を変更

全体の責任表示と同様に/(スラッシュ)に続けて役割区分を入力いたします。
 日本人、東洋人の姓名の間は(スペース)で区切って入力いたします。

責任表示の拡大

従来、内容に関する責任表示は、作曲者に限定して入力しておりましたが、以下のように入力いたします。ただし、1作品に対して1責任表示の入力となります。

<録音>ポピュラー音楽の演奏者を入力いたします。

<映像>責任表示に準じて入力いたします。

例

現行のVタイプ			2005年4月以降のVタイプ			
内容第1	30	命	⇒	内容第1	30	命¥北島 三郎/歌
	31	イノチ		内容第1	31	イノチ
内容第2	32	なみだ海峡		内容第2	32	なみだ海峡¥大黒 裕貴/歌
	33	ナミダ カイキヨウ		33	ナミダ カイキヨウ	
内容第3	34	灯	内容第3	34	灯¥秋岡 秀治/歌	
	35	トモシビ		35	トモシビ	
	:			:		

注1) 区切り記号につきましては、累積MARCは順次修正いたします。

注2) 責任表示の入力の拡大につきましては、2005年4月以降のMARCからとなります。

フィールド識別子1	フィールド名1	\$1	R1	サブフィールド名1	和書	AV		非累積	フィールド識別子2	フィールド名2	\$2	R2	サブフィールド名2	和書	AV		非累積	
						録音	映像								録音	映像		洋書
													R × 原綴形 (全部欧文の場合)					
													X × ローマ字形					
													B × 漢字形<設定のみ>					
													F × アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V × アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G ○ カタカナ形 (第2タイトル)					
													H ○ Gのローマ字形					
													N × シリーズコード					
													M × シリーズ分売不可コード					
													Z × 典拠コード					
				D × シリーズの部編名、巻次、回次、年次等									D × 部編名、巻次、回次、年次等の読み					
													C × 部編名、巻次、回次、年次等の配列記号					
				B ○ シリーズ名関連情報					481~489	シリーズ名関連情報標目			A ○ カタカナ形					
													R ○ 原綴形 (全部欧文の場合)					
													X ○ ローマ字形					
													B ○ 漢字形<設定のみ>					
													F ○ アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V ○ アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G ○ カタカナ形 (第2タイトル)					
													H ○ Gのローマ字形					
				G × シリーズの巻のタイトル					461~469	シリーズの巻のタイトル標目			A × カタカナ形					
													R × 原綴形 (全部欧文の場合)					
													X × ローマ字形					
													B × 漢字形<設定のみ>					
													F × アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V × アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G × カタカナ形 (第2タイトル)					
													H × Gのローマ字形					
													A ○ カタカナ形 (統一形)					
				F ○ シリーズの責任表示					781~789	シリーズの著者標目			B ○ 漢字形(西洋人以外の統一形)					
				Z ○ 記述形典拠コード									R ○ 原綴形(西洋人統一形)					
													G ○ 付記事項(生没年)					
													H ○ 付記事項(専門等)					
													X ○ ローマ字形					
													P ○ カタカナ形(西洋人の記述に対応する)					
													Y ○ カタカナ形(西洋人以外の記述に対応する)					
													Z ○ Yのローマ字形					
													W ○ Yに対応する漢字形<設定のみ>					
													N ○ 統一形典拠コード					
													V ○ アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
				R ○ 並列シリーズ名<洋書>														
291~299	多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項			A × 各巻のタイトル					591~599	多巻ものの各巻のタイトル標目			A ○ カタカナ形					
													R ○ 原綴形(全部欧文の場合)					
													X ○ ローマ字形					
													B ○ 漢字形					
													F ○ アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V ○ アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G ○ カタカナ形 (第2タイトル)					
													H ○ Gのローマ字形					
				E × 各巻の無著者名古典									I ○ カタカナ形(無著者名古典)					
													J ○ Iのローマ字形					
				D × 各巻の部編名、巻次、回次、年次等									C × 部編名、巻次、回次、年次等の読み					
													D × 部編名、巻次、回次、年次等の配列記号(但し、592~599はなし)					
				V × 全巻数<非累積:漢籍・和古書>														
				B ○ 各巻のタイトル関連情報					491~499	多巻ものの各巻のタイトル関連情報標目			A ○ カタカナ形					
													R ○ 原綴形(全部欧文の場合)					
													X ○ ローマ字形					
													B ○ 漢字形<設定のみ>					
													F ○ アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V ○ アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G ○ カタカナ形 (第2タイトル)					
													H ○ Gのローマ字形					
				G × 各巻の巻のタイトル					471~479	多巻ものの各巻の巻のタイトル標目			A × カタカナ形					
													R × 原綴形(全部欧文の場合)					
													X × ローマ字形					
													B × 漢字形<設定のみ>					
													F × アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V × アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
													G × カタカナ形 (第2タイトル)					
													H × Gのローマ字形					
													A ○ カタカナ形 (統一形)					
				F ○ 各巻の責任表示					791~799	多巻ものの各巻の著者標目			B ○ 漢字形(西洋人以外の統一形)					
				Z ○ 記述形典拠コード									R ○ 原綴形(西洋人統一形)					
													G ○ 付記事項(生没年)					
													H ○ 付記事項(専門等)					

フィールド 識別子1	フィールド名1	\$1	R1	サブフィールド名1	和 書	AV			非 累積	フィールド 識別子2	フィールド名2	\$2	R2	サブフィールド名2	和 書	AV			非 累積
						録音	映像	洋書								録音	映像	洋書	
													X	ローマ字形					
													P	カタカナ形(西洋人の記述に対応する)					
													Y	カタカナ形(西洋人以外の記述に対応する)					
													Z	Yのローマ字形					
													W	Yに対応する漢字形<設定のみ>					
													N	統一形典拠コード					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
			R																
			R																
340	下記の特定事項に属さない注記	A		下記の特定事項に属さない注記															
341	タイトルに関する注記	A		タイトルに関する注記						541	タイトルに関する注記のタイトル標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形<設定のみ>					
													F	アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
342	原タイトル注記	A		翻訳書の原書の原タイトル															
				B															
				C															
				C															
343	正編または本編のタイトルに関する注記	A		正編または本編のタイトルに関する注記						543	正編または本編のタイトル標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形<設定のみ>					
													F	アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
344	責任表示に関する注記	A		責任表示に関する注記															
345	版および書誌的末歴に関する注記	A		版および書誌的末歴に関する注記						545	版および書誌的末歴のタイトル標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形<設定のみ>					
													F	アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
346	出版・頒布等に関する注記	A		出版・頒布等に関する注記															
347	形態に関する注記	A		形態に関する注記						547	付属資料のタイトル標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形<設定のみ>					
													F	アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
348	シリーズに関する注記	A		シリーズに関する注記						548	シリーズに関する注記のタイトル標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形<設定のみ>					
													F	アルファベット・数字を含むカタカナ形					
													V	アルファベット形(ピンイン・ウェード等)					
349	会期・会場に関する注記	A		会期・会場に関する注記						549	展覧会会場標目	A		カタカナ形					
													R	原綴形(全部欧文の場合)					
													X	ローマ字形					
													B	漢字形					
350	累積注記	A		累積注記、一般注記<洋書>															
360	価格に関する注記	B		本体価格															
				C															
				L															
				M															
				J															
				D															
				T															
				N															
				R															
				G															
				H															
				I															
				O															
				P															
				Q															
				V															
377	内容に関する注記	A		内容細目注記															
				L															
				J															
				O															
386	電子的内容に関する注記<非累積:電子資料>	A		電子的内容注記<非累積:電子資料>															
387	システム要件に関する注記<非累積:電子資料>	A		システム要件注記<非累積:電子資料>															
389	AV機能に関する注記<AV>	A		音声機能注記<AV>															
				B															
				C															

フィールド 識別子1	フィールド名1	\$1	R1	サブフィールド名1	和 書	AV			非 累積	フィールド 識別子2	フィールド名2	\$2	R2	サブフィールド名2	和 書	AV			非 累積	
						録音	映像	洋書								録音	映像	洋書		録音
				D																
				G																
391	受賞情報			A																
				D																
392	書評情報			A																
				D																
				G																
430	逐次刊行物の先行記入<非 累積:逐刊>			I																
										530	改題前のタイトル<非累 積:逐刊>			A						
														R						
														X						
														B						
														F						
														V						
440	逐次刊行物の後継記入<非 累積:逐刊>			I										A						
														R						
														X						
														B						
														F						
														V						
														A						
														R						
														X						
														B						
														F						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														Z						
														C						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						
														A						
														B						
														R						
														G						
														H						
														X						
														N						
														V						

11. 「典拠ファイル」データ要素一覧

個人名典拠ファイル

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-5000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-5000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-5000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-5000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-5000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照)目録言語(JPN)翻字(Y)文字セット(空白 4桁)追加文字(空白 4桁)目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
102	A	×	1	図書出現フラグ(著者)	0000-5000	1:図書の著者として出現した場合
	B	×	1	図書出現フラグ(件名)	0000-5000	1:図書の件名として出現した場合
	C	×	1	図書出現フラグ(内容細目ファイル)	0000-5000	1:図書の内容細目ファイルに出現した場合
	D	×	1	図書出現フラグ(学習件名ファイル)[予定]	0000-5000	1:図書の学習件名ファイルに出現した場合
103	A	×	1	AV出現フラグ(著者)	0000-5000	1:AVの著者として出現した場合
	B	×	1	AV出現フラグ(件名)	0000-5000	1:AVの件名として出現した場合
	C	×	1	AV出現フラグ(内容細目ファイル)	0000-5000	1:AVの内容細目ファイルに出現した場合
152	A	×	目録規則	0000	NCR1987	
200	A	×		個人名漢字形	0000-5000	
	K	×		個人名カタカナ形	0000-5000	
	X	×		個人名ローマ字形	0000-5000	
	C	×		標目限定語(専門、世系等)	0000	
	F	×		標目限定語(生没年)	0000	
300	A	×	名称に関する注記[予定]	0000-5000	例:本名	
301	A	×	参考生没年	0000		
320	E	×		職業・専門等	0000	
	F	×		受賞[予定]	0000	
	H	×		著者紹介	0000	
500	A	○	15	相互参照ID	0000	
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-5000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-5000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-5000	20030331
802	B	×	4	出典資料コード(カタカナ形)	0000-5000	
	D	×	4	出典資料コード(漢字形)	0000-5000	
825	A	×	8	初出MARC No.	0000-4000	
	B	×		初出タイトル	0000-4000	

注:対象SEQは、例えば、標目限定語は典拠ID下4桁が0000のものにのみを指しています。(以下各典拠ファイル)

団体名典拠ファイル

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-5000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-5000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-5000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-5000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-5000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照) 目録言語(JPN) 翻字(Y) 文字セット(空白 4桁) 追加文字(空白 4桁) 目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
102	A	×	1	図書出現フラグ(著者)	0000-5000	1:図書の著者として出現した場合
	B	×	1	図書出現フラグ(件名)	0000-5000	1:図書の件名として出現した場合
	C	×	1	図書出現フラグ(内容細目ファイル)	0000-5000	1:図書の内容細目ファイルに出現した場合
	D	×	1	図書出現フラグ(学習件名ファイル)[予定]	0000-5000	1:図書の学習件名ファイルに出現した場合
103	A	×	1	AV出現フラグ(著者)	0000-5000	1:AVの著者として出現した場合
	C	×	1	AV出現フラグ(内容細目ファイル)	0000-5000	1:AVの内容細目ファイルに出現した場合
152	A	×		目録規則	0000	NCR1987
210	A	×		団体名漢字形	0000-5000	
	K	×		団体名カタカナ形	0000-5000	
	X	×		団体名ローマ字形	0000-5000	
	C	×		標目限定語(創立年、所在地等)	0000	
300	A	×		名称に関する注記[予定]	0000-5000	例:愛称
301	A	×		参考創立年[予定]	0000-5000	
320	A	×		備考	0000-5000	
510	A	○	15	相互参照ID	0000	
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-5000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-5000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-5000	20030331
802	B	×	4	出典資料コード(カタカナ形)	0000-5000	
	D	×	4	出典資料コード(漢字形)	0000-5000	
825	A	×	8	初出MARC No.	0000-4000	
	B	×		初出タイトル	0000-4000	

出版者典拠ファイル(図書のみ)

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-5000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-5000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-5000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-5000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-5000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照)目録言語(JPN)翻字(Y)文字セット(空白 4桁)追加文字(空白 4桁)目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
152	A	×		目録規則	0000	NCR1987
270	A	×		出版者漢字形	0000-5000	
	K	×		出版者カタカナ形	0000-5000	
	X	×		出版者ローマ字形	0000-5000	
	C	×	4	出版者コード	0000	TRC管理用出版者コード
	D	○		出版者IS記号	0000-4000	
300	A	×		名称に関する注記〔予定〕	0000-5000	例:旧社名
301	A	×		参考創立年〔予定〕	0000-4000	
320	A	×		備考	0000-5000	
370	D	×	8	郵便番号	0000-4000	
	E	×		住所	0000-4000	
	G	×	12	TEL	0000-4000	
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-5000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-5000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-5000	20030331

全集典拠ファイル(図書のみ)

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-5000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-5000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-5000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-5000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-5000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照)目録 言語(JPN)翻字(Y)文字セット(空白 4桁) 追加文字(空白 4桁)目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
152	A	×		目録規則	0000	NCR1987
236	A	×		全集漢字形	0000-5000	
	K	×		全集カタカナ形	0000-5000	
	X	×		全集ローマ字形	0000-5000	
	C	×	6	全集コード	0000	
	H	×		全集カタカナ形(アルファベット・数字を含む)	0000-5000	
	G	×		全集カタカナ形(第2タイトル)	0000-5000	
	Y	×		全集ローマ字形(第2タイトル)	0000-5000	
	F	×	15	出版者ID	0000-1000	
	J	○		全集の別置記号	0000-1000	
	M	○		全集の分類記号	0000-1000	NDC9版<NDC8版>
320	A	×		備考	0000-5000	
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-5000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-5000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-5000	20030331
830	J	×	1	新継続案内区分	0000-1000	1:新継続

シリーズ典拠ファイル(図書のみ)

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-5000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-5000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-5000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-5000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-5000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照)目録言語(JPN)翻字(Y)文字セット(空白 4桁)追加文字(空白 4桁)目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
152	A	×		目録規則	0000	NCR1987
237	A	×		シリーズ漢字形	0000-5000	
	K	×		シリーズカタカナ形	0000-5000	
	X	×		シリーズローマ字形	0000-5000	
	C	×	6	シリーズコード	0000	
	H	×		シリーズカタカナ形(アルファベット・数字を含む)	0000-5000	
	G	×		シリーズカタカナ形(第2タイトル)	0000-5000	
	Y	×		シリーズローマ字形(第2タイトル)	0000-5000	
	F	×	15	出版者ID	0000-1000	
	J	○		シリーズの別置記号〔予定〕	0000-1000	
	M	○		シリーズの分類記号〔予定〕	0000-1000	NDC9版<NDC8版>
320	A	×		備考	0000-5000	
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-5000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-5000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-5000	20030331
830	J	×	1	新継続案内区分	0000-1000	1:新継続

件名典拠ファイル(図書のみ)

フィールド識別子	\$	R	桁数	サブフィールド名	対象SEQ	備考
000	A	×	1	データレベル	0000-6000	F:確定, M:更新
000	L	×	4	更新レベル	0000-6000	
001	A	×	15	典拠ID	0000-6000	
005	A	×	8	最終更新日付	0000-6000	例:20030331
100	A	×	23	一般的処理データ	0000-6000	登録日付(8)状態(A:典拠 X:参照)目録言語(JPN)翻字(Y)文字セット(空白 4桁)追加文字(空白 4桁)目録用文字(DA) 例:20030331AJPNY DA
152	A	×		目録規則	0000	NCR1987
215	A	×		地名件名漢字形	0000-6000	
	K	×		地名件名カタカナ形	0000-6000	
	X	×		地名件名ローマ字形	0000-6000	
230	A	×		作品件名漢字形	0000-6000	
	K	×		作品件名カタカナ形	0000-6000	
	X	×		作品件名ローマ字形	0000-6000	
250	A	×		普通件名漢字形	0000-6000	
	K	×		普通件名カタカナ形	0000-6000	
	X	×		普通件名ローマ字形	0000-6000	
305	A	○		SA (BSH)	0000	
315	A	×	1	地理区分	0000	1:国 2:国地 3:国+地 4:+国地 5:+国 6:地
320	A	○		備考(説明つき参照)	0000	
330	A	○		S NOTE (BSH)	0000	
	B	○		S NOTE (TRC)	0000	
350	A	×	4	種別	0000	例示件名標目・固有名詞件名標目のグループをコード化 例:0501 遺跡名
	B	×		概念	0000-6000	
	C	○	15	人名ID	0000	作品件名標目の著者ID, 「-小説」の人名ID
687	C	○		参照分類 (TRC)	0000	NDC9版<NDC8版>
	E	○		参照分類 (BSH)	0000-6000	NDC9版
801	A	×		レコード作成機関(国名)	0000-6000	JP
	B	×		レコード作成機関(機関名)	0000-6000	TRC
	C	×		レコード提供年月日	0000-6000	20030331
802	B	×	4	出典コード(カタカナ)	0000-6000	
	D	×	4	出典コード(漢字)	0000-6000	
	F	×	4	出典コード(概念)	0000-6000	
	H	×	1	出自	0000-6000	A:BSH第3版 B:NDLSH第5版ほか

12. 「内容細目ファイル」データ要素一覧

内容タイトルファイル

フィールド識別子	フィールド名	\$	R	サブフィールド名		
000	識別情報	A	×	データレベル		
		L	×	更新レベル		
		B	×	最終更新日付		
		C	×	内容細目No.(TRC MARC No.)		
		D	×	一般的処理データ(ファイルに入れた日付(8桁)空白(14桁)JPN空白(10桁))		
		S	×	責任表示ファイルフラグ		
		P	×	未収録件数<AV資料のみ>		
		W	×	国名コード		
		X	×	レコード作成機関名		
		Y	×	レコード提供年月日		
		Z	×	目録規則		
		001~499	タイトルに関する事項	A	×	タイトル
				D	×	部編名, 巻次, 回次, 年次等
B	○			タイトル関連情報		
P	×			収録ページ		
501~999	タイトル標目	A	○	カタカナ形		
		R	○	原綴形(全部欧文の場合)		
		X	○	ローマ字形		
		B	○	漢字形<設定のみ>		
		F	○	アルファベット・数字を含むカタカナ形		
		G	○	カタカナ形(第2タイトル)		
		H	○	Gのローマ字形		

内容責任表示ファイル

フィールド識別子	フィールド名	\$	R	サブフィールド名		
000	識別情報	A	×	データレベル		
		L	×	更新レベル		
		B	×	最終更新日付		
		C	×	内容細目No.(TRC MARC No.)		
		D	×	一般的処理データ(ファイルに入れた日付(8桁)空白(14桁)JPN空白(10桁))		
		W	×	国名コード		
		X	×	レコード作成機関名		
		Y	×	レコード提供年月日		
		Z	×	目録規則		
		001~499	責任表示	F	○	責任表示
				Z	○	記述形典拠コード
		501~999	著者標目	A	○	カタカナ形(統一形)
				B	○	漢字形(西洋人以外の統一形)
R	○			原綴形(西洋人統一形)		
G	○			付記事項(生没年)		
H	○			付記事項(専門等)		
X	○			ローマ字形		
P	○			カタカナ形(西洋人の記述に対応する)		
Y	○			カタカナ形(西洋人以外の記述に対応する)		
Z	○			Yのローマ字形		
W	○			Yに対応する漢字形<設定のみ>		
N	○			統一形典拠コード		

内容タイトルファイルと責任表示ファイルとの対応

内容タイトルファイル		内容責任表示ファイル	
タイトル	タイトル標目	責任表示	著者標目
001	501	001	501
002	502	002	502
⋮	⋮	⋮	⋮
499	999	499	999

13.「目次情報ファイルT」データ要素一覧(図書のみ)

フィールド識別子	フィールド名	\$	R	サブフィールド名
000	レベル	A	×	データレベル
		L	×	更新レベル
005	最終更新日付	A	×	最終更新日付
080	目次情報コード	A	×	目次情報No.(TRC MARC No.)
100	一般的処理データ	A	×	一般的処理データ(ファイルに入れた日付(8桁)空白(14桁)JPN空白(10桁))
201~299	第1階層目次	A	×	タイトル
301~399	第2階層目次	A	○	タイトル
801	レコード作成機関	A	×	国名コード
		B	×	レコード作成機関名
		C	×	レコード提供年月日
		G	×	目録規則

第1階層目次と第2階層目次の対応

第1階層		第2階層
201A01	⇔	301A01
	⇔	301A02
		⋮
202A01	⇔	302A01
	⇔	302A02
		⋮
		⋮
299A01	⇔	399A01
		⋮
		⋮
	⇔	399A99

14.「コード化情報ファイル」

各コード化情報毎のヘッダー部に各該当タグがはいるります。

フィールド	\$	R	サブフィールド名
該当タグのフィールド	*	○	コード
	U	○	漢字形

*は、各該当タグのサブフィールド

注1) MARCの「索引フラグ」(132A)人名・団体名典拠ファイルの「図書出現フラグ」(102)「AV出現フラグ」(103)全集・シリーズ典拠ファイルの「新継続案内区分」(830J)内容細目ファイルの「責任表示ファイルフラグ」(000S)につきましては、フラグ“1”のみの入力となりますので、コード化情報の対象外となります。

注2) 同一のコードを使用している場合も、各タグ毎にコード化情報ファイルを提供いたします。

コード化情報使用タグ一覧

コード化情報名	MARC/周辺ファイルのフィールド識別子	S	MARC/周辺ファイルのサブフィールド名	MARC			典拠					内容タイトル	内容責任表示	目次情報	学習件名	
				和書	A V	洋書	人名	団体名	全集	シリーズ	出版者					件名
データレベル	000	A	データレベル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MARC種別	001	A	MARC種別	○	○	○										
周辺ファイルの種類	003	A	周辺ファイルの種類	○	○											
言語コード	101	A	テキストの言語	○		○										
		C	原書の言語	○		○										
		D	翻訳にあたって使用したテキストの言語	○		○										
		E	字幕の言語		○											
		F	音声の言語		○											
国名コード	102	A	出版国	○		○										
		C	映画の製作国<AV>		○											
資料種別	121	A	資料種別	○	○	○										
		I	付属資料の資料種別	○	○	○										
資料形式		B	資料形式	○												
利用対象		C	利用対象	○		○										
利用対象<AV>		D	利用対象<AV>		○											
刊行形態区分		E	刊行形態区分	○		○										
流通コード		G	流通コード	○	○	○										
装丁コード		H	装丁コード	○	○	○										
特殊な刊行形態区分		K	特殊な刊行形態区分	○												
ベルグループコード		L	ベルグループコード	○												
ストックブックスコード	M	ストックブックスコード	○													
著作権コード	141	A	著作権コード<AV>		○											
		B	付属資料の著作権コード	○	○	○										
VT識別コード	151	A	VT識別コード<AV>		○											
画像仕様		B	画像仕様<AV>		○											
記録層		C	記録層<AV>		○											
CD規格		G	CD規格<AV>		○											
地理区分	315	A	地理区分												○	
種別	350	A	種別												○	
地域コード〔予定〕	665	N	地域コード〔予定〕	○												
ジャンル名<和書>	669	A	ジャンル名<和書>	○												
ジャンル名<AV録音>		B	ジャンル名<AV録音>		○											
ジャンル名<AV映像>		C	ジャンル名<AV映像>		○											
別置記号	677	W	別置記号	○	○	○										
	678	W	シリーズの別置記号〔予定〕	○												
	679	W	多巻ものの各巻の別置記号	○												
	236	J	全集の別置記号						○							
	237	J	シリーズの別置記号〔予定〕							○						
出典資料コード	802	B	出典資料コード(カタカナ形)				○	○							○	
		D	出典資料コード(漢字形)				○	○							○	
		F	出典資料コード(概念)												○	
出自		H	出自											○		

F A X 送信票

平成 年 月 日

〔受信元〕

株式会社図書館流通センター データ部 松木暢子宛

〒112-8632 東京都文京区大塚 3-4-7

TEL : 03-3943-2229

FAX : 03-3943-2231

〔発信元〕 ご住所

TEL

FAX

図書館名

ご担当者名

本号に対するご意見・ご質問・ご感想等ございましたらお寄せ下さい。

TRC MARC ニュース 第24号

2003年 11月 7日発行

編集・発行 株式会社 図書館流通センター

データ部

吉田 絵美子

〒112-8632 東京都文京区大塚3-4-7

電話 03-3943-2229 (直通)

FAX 03-3943-2231